

2023年度活動報告書



居住支援法人 特定非営利活動法人
やどかりサポート鹿児島

目次

理事長の挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P1-2

2023年度活動成果のトピックス・・・・・・・・・・ P3-4

基幹事業 地域ふくし連帯保証事業

概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P5-8

利用者の属性・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P9-12

支援者の有無・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P13

やどかりライフ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P14

入居した物件の種類・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P15

2023年度新規利用者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P16

法人保証と個人補償・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P17-18

保証事故件数とその内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P19-20

住宅確保要配慮者に対する相談実績・・・・・・・・ P21-24

基幹事業 相談支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P25-26

ピアサポーターステップアップ事業・・・・・・・・ P27-28

助成事業・補助事業

独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業（WAM助成）
ミッションへの参加が互助を促進する当事者主体のシェルター
運営事業
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P29-30

一般社団法人全日本冠婚葬祭互助会社会貢献基金
地域葬・互助会葬を目指す「つながるファイル」事業
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P31-32

九州ろうきん「NPO助成」～つながろう日置 支え合いを生むため
の交流会開催および LINE グループによる安否確認の実現～
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P33

目次

助成事業・補助事業

内閣府 令和5年度 地域における孤独・孤立対策に関する
NPO等の取組モデル調査当事者主体の互助活動を推進する
居場所運営とアウトリーチ活動
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P34

SOCIALSHIP2022・・・・・・・・・・・・・・・・ P35-36

受賞やメディアへの掲載・・・・・・・・ P37-38

これまでの実績・・・・・・・・ P39-40

利用決定委員会委員・・・・・・・・ P41-42

やどかりサポート鹿児島会員名・・・・・・・・ P43-46

やどかり住まい安心システム「すまほっと」・・・・ P47-50

2023年度研修会・交流会一覧・・・・・・・・ P51-53

ご寄付者一覧・・・・・・・・ P55-58

2023年度決算報告書・・・・・・・・ 別紙

2024年度事業計画書・・・・・・・・ P59-62

2024年度予算案・・・・・・・・ 別紙

資産総額の確認・・・・・・・・ 別紙

理事長の挨拶



居住支援の新たな地平線：法改正と今後のやどかりの在り方

5月30日、住宅セーフティネット法の改正が衆院本会議で可決・成立しました。

「居住サポート住宅」という新たな形態の住宅が誕生し、その主な担い手として居住支援法人とされています。また、居住支援法人の業務として新たに「残置物処分」が明記されました。居住支援法人に対する期待が高まっています。

さらに、同改正において「認定家賃債務保証業者」が誕生します。ついに国が「断らない家賃保証」の実現に乗り出しました。やどかりが実践している「地域ふくし連帯保証」は、やどかり設立当時から「いつかはお国にお返しする」仕事であると考えてきました。ついにその時が来たのかもしれませんが。

それでも、やどかりの活動は続きます。16年間の実践の中で気づき、積み上げてきた「当事者主体の居住支援」は、今後の居住支援に関わる諸課題を解決していくうえで必ず必要となる概念であると確信しています。

当事者のつながりによって孤独死ゼロを目指す「孤独死ゼロアクション」も着実に進展しています。現在はやどかり利用者間で少しずつ拡げて行っているところで、近い将来、誰もが参加できる事業として「お披露目」することを目指しています。

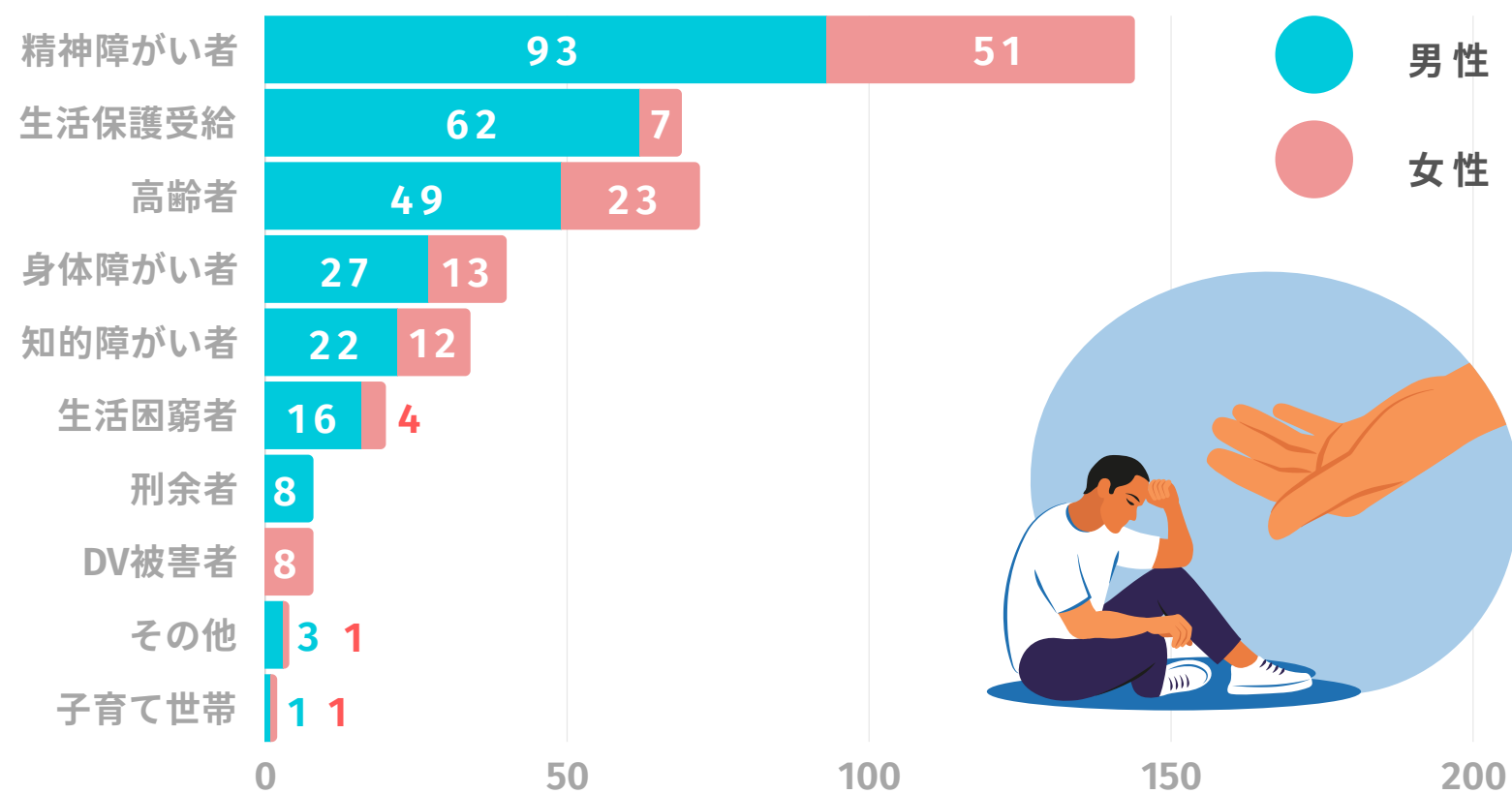
こうした様々な活動が展開できているのも、たくさんの方々にご支援いただいているからこそです。誠にありがとうございます。今後も引き続き、応援してください！よろしくお願い申し上げます。

やどかりサポート鹿児島 理事長 芝田 淳



2023年度 活動成果の トピックス

地域ふくし連帯保証利用者数



403人

(2024年3月31日時点)

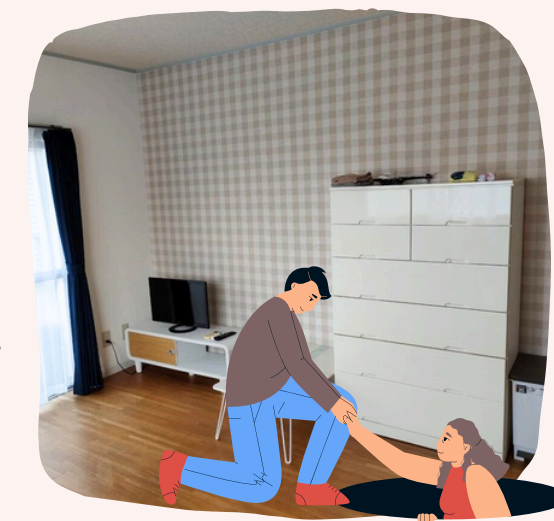


2023年度の利用者は男性281人、女性が122人になり、403人となりました。

シェルター運営3部屋。30人を支援。

前年度に引き続き、2023年度も当事者が支援する個室型シェルターを3部屋運営。20代から70代まで延べ30名の方が利用されました。

シェルターの卒業生であるピアサポーターが支援することで、シェルター入居中から地域の利用者コミュニティとの間に関係性が生まれ、シェルター退去後の孤独・孤立を防ぐ効果が見られました！



第14回 地域再生大賞を受賞しました！

2023年で14回目を迎える地域再生大賞は、全国の地方新聞47紙と日本放送協会、共同通信が地域の魅力アップや課題解決に取り組む団体を応援する賞です。

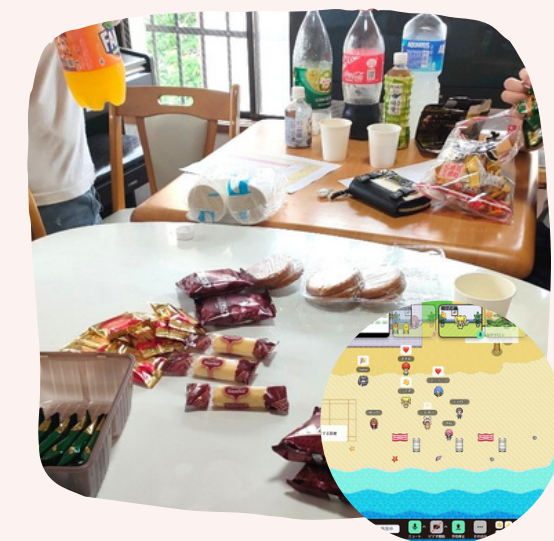
連帯保証人がおらず、賃貸住宅が借りられない人に保証を提供するやどかりの地域ふくし連帯事業が評価され「九州・沖縄ブロック賞」を受賞しました！



コミュニティの中心となる居場所サロンを 100回以上開催！

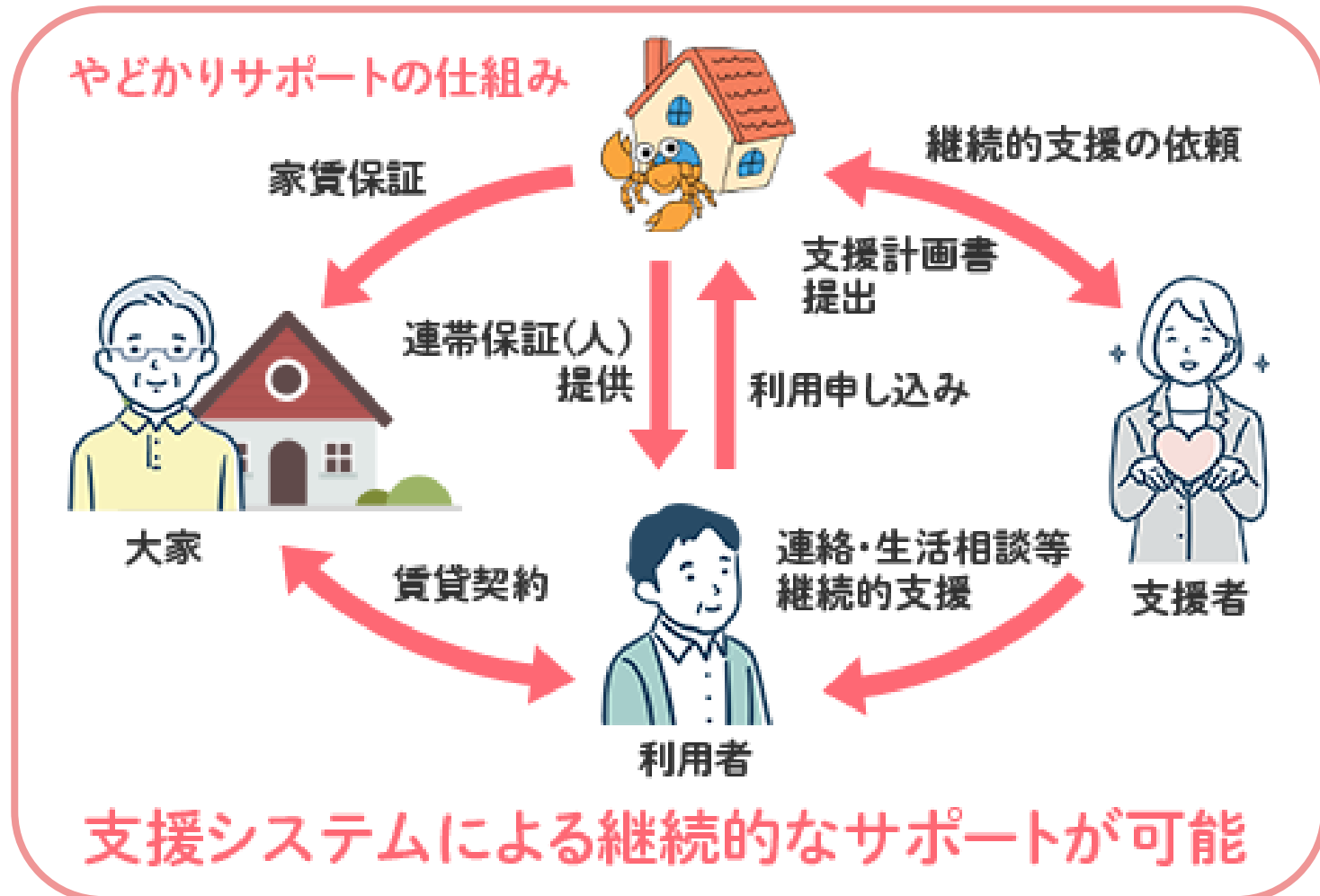
居場所サロンは新利用者や孤立状態にある人が地域で人間関係を結ぶことを可能にする場所として機能しています。やどかりは2023年度に鹿児島市と日置市で居場所サロンを100回以上開催。

また、新しい試みとしてオンラインコミュニケーションツールの「METALIFE」を使ったオンライン居場所にもチャレンジしました。



地域ふくし連帯保証とは

概要



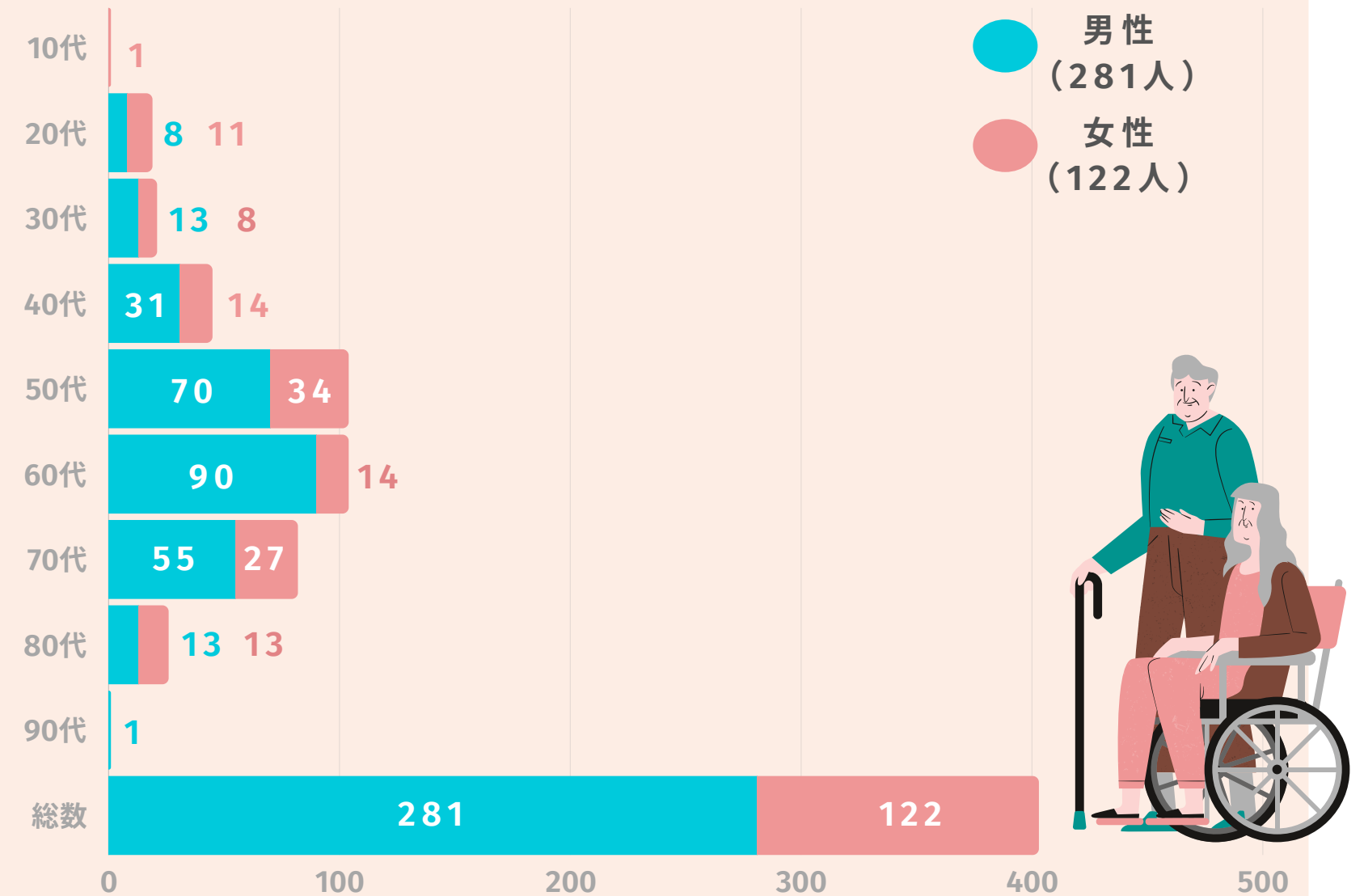
「地域ふくし連帯保証」はやどかりサポート鹿児島的主要事業で、精神病院に長期入院している人たちが退院し地域で暮らせることを目的に始められました。

連帯保証事業には家賃滞納や孤独死など様々な補償事故のリスクがありますが、訪問介護や病院など、利用者に定期的に接触する人に“支援者”になってもらう事で、利用者の状態を把握し、保証リスクを抑える仕組みです。

現在は身寄りがなく居住困難に陥っている人たちの連帯保証も一定数引き受けています。

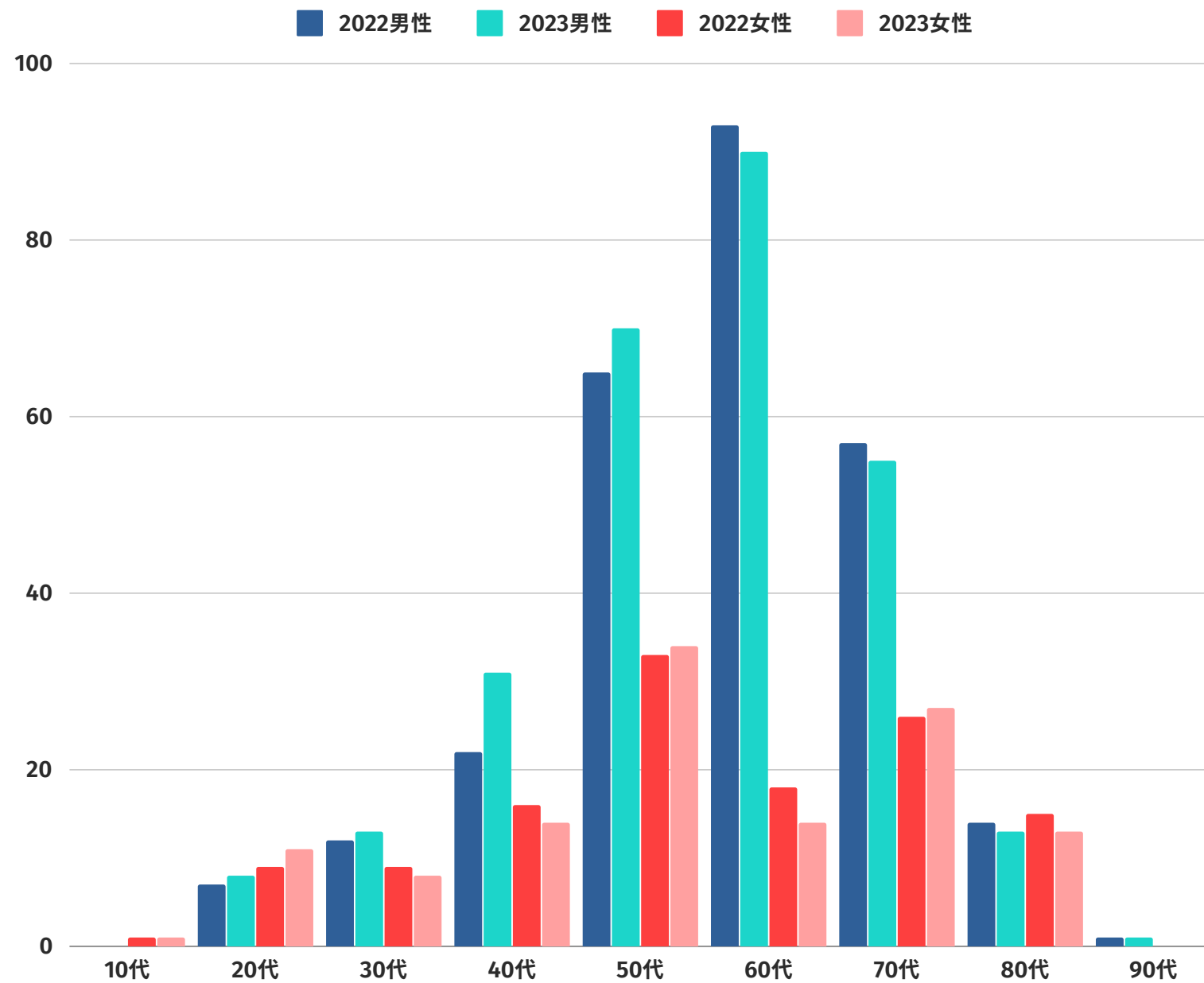
※本項目におけるデータは全て2024年3月31日時点のデータを使用。

利用者の年齢層（2023年3月31日時点 男女別）



やどかり利用者の男女比はおよそ7対3となっており、男性が女性の2倍以上の割合を占めています。最も多い年齢層は50代・60代で、2つの年齢層だけで全体の過半数を占めています。

利用者の年齢層
(2022年度と2023年度の男女別比較)



利用者の年齢は10代から90代まで幅広いです。
男女どちらも50～70代の中高年齢層が多いですが、男性で多い年齢層に違いがあり、男性では60代が最多、女性は50代が最多となっています。

利用者の年齢層 (2022年度と2023年度の男女別比較)

	2022男性	2023男性	2022女性	2023女性
10代	0	0	1	1
20代	7	8	9	11
30代	12	13	9	8
40代	22	31	16	14
50代	65	70	33	34
60代	93	90	18	14
70代	57	55	26	27
80代	14	13	15	13
90代	1	1	0	0
総数	271	281	127	122

利用者の属性



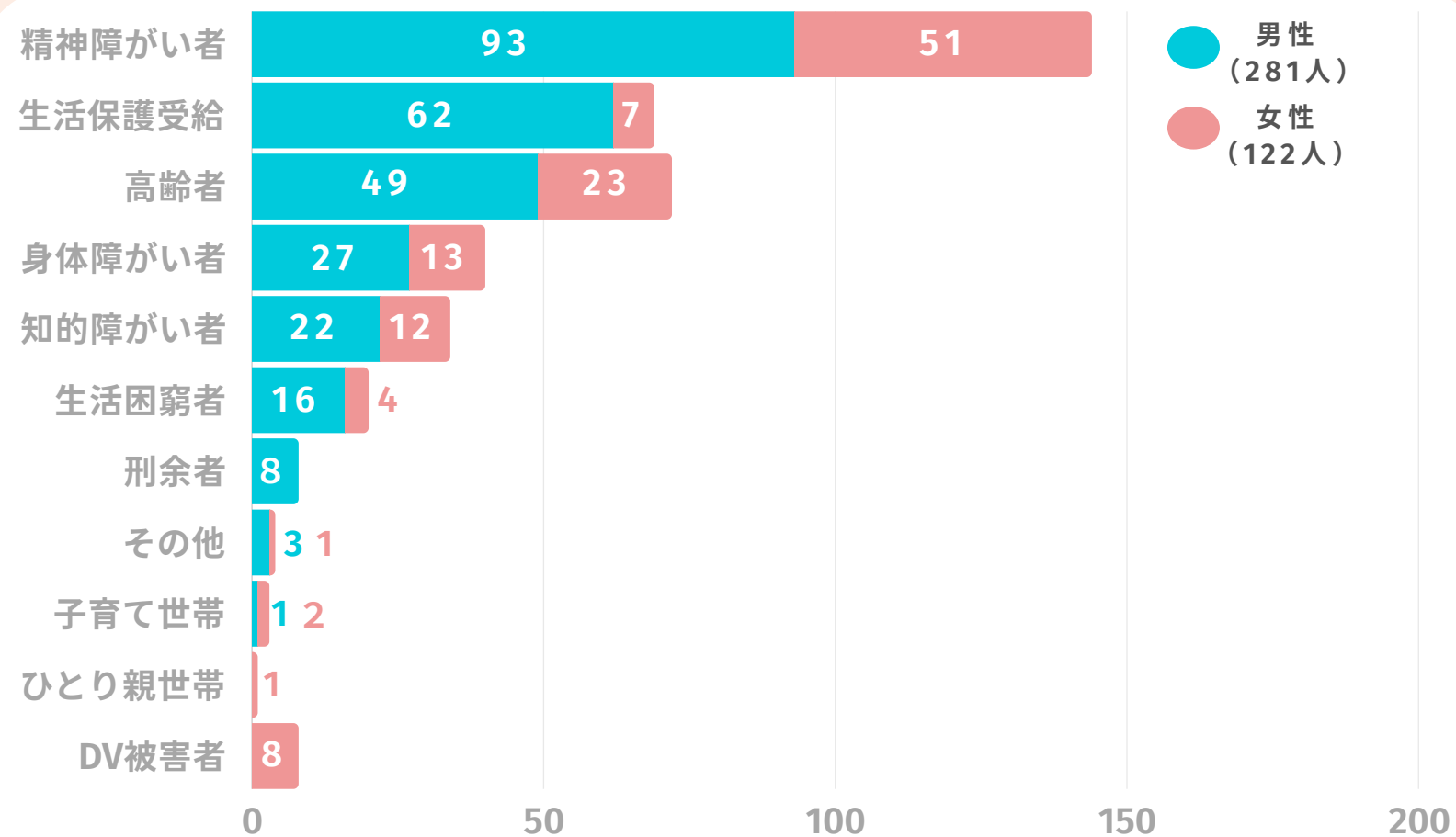
やどかりサポート鹿児島は賃貸の連帯保証人がいないせいで家を借りることができず、精神病院から対応できない患者がいるという問題を解決するために設立されました。

しかし賃貸の連帯保証の問題はこうした医療ケアが関わっている人だけではありません。高齢者やDV被害者、生活困窮者など、居住困難に苦しむ人の属性は多岐にわたっています。

多くのケースでは居住困難に陥った背景は複数の要因にまたがっています。

※本項目におけるデータは全て2024年3月31日時点のデータを使用。

2023年度 利用者の属性（男女別）

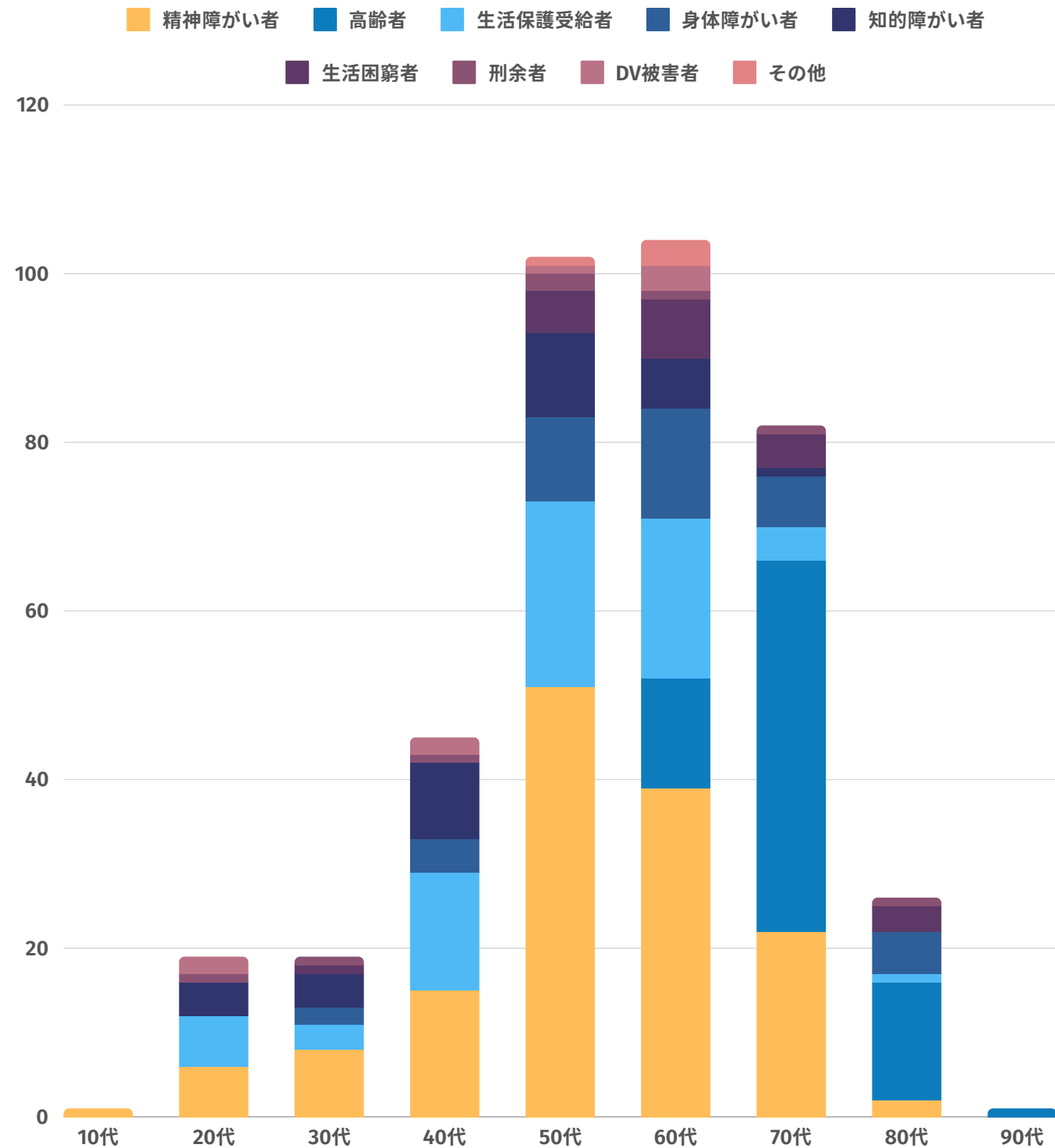


2023年度利用者の属性（男女別）

	2023男性	% n=281	2023女性	% n=122	男女合計	n=403
精神障がい者	93	33%	51	42%	144	36%
生活保護受給	62	22%	7	6%	69	17%
高齢者	49	17%	23	19%	72	18%
身体障がい者	27	10%	13	11%	40	10%
知的障がい者	22	8%	12	10%	34	8%
生活困窮者	16	6%	4	3%	20	5%
刑余者	8	3%	0	0%	8	2%
その他	3	1%	1	1%	4	1%
子育て世帯	1	0%	2	2%	3	1%
ひとり親世帯	0	0%	1	1%	1	0%
DV被害者	0	0%	8	7%	8	2%
総数	281	100%	122	100%	403	100%

男女とも精神障がい者を持っている者の割合が最多となっています。男性では2位の生活保護受給者の順位は、女性では6位違いが見られます。女性には男性には存在しないDV被害者が8人（6.6%）存在しています。

2023年度 利用者の年齢と属性区分



2023年度 利用者の年齢と属性区分

個数 / 代表属性略称	精神障がい者	高齢者	生活保護受給者	身体障がい者	知的障がい者	生活困窮者	刑余者	DV被害者	その他	子育て世帯	ひとり親世帯	合計
10代	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
20代	6	0	6	0	4	0	1	2	0	0	0	19
30代	8	0	3	2	4	1	1	0	0	1	1	21
40代	15	0	14	4	9	0	1	2	0	0	0	45
50代	51	0	22	10	10	5	2	1	1	2	0	104
60代	39	13	19	13	6	7	1	3	3	0	0	104
70代	22	44	4	6	1	4	1	0	0	0	0	82
80代	2	14	1	5	0	3	1	0	0	0	0	26
90代	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
総数	144	72	69	40	34	20	8	8	4	3	1	403

最も多い区分は50代の精神障害者で、利用者全体の約13%を占めています。

支援者の有無

概要

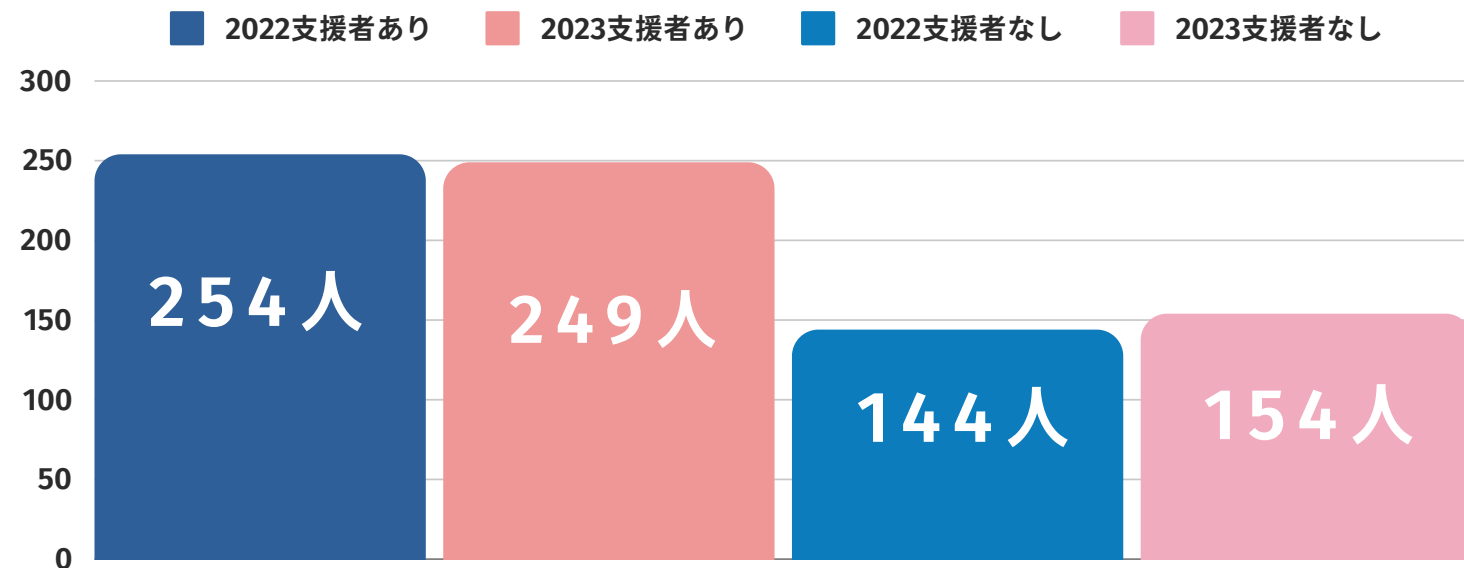


やどかりサポート鹿児島では、利用の際に基本的に支援者という立場の人をお願いしています。支援者の方は訪問看護の事務所だったり、就労施設をいとなんでいたりして、利用者に定期的に会う機会のある人たちです。こうした支援者の方に利用者を見守ってもらうことにより、利用者の生活は安定し、保証リスクが軽減されます。

社会情勢の変化の中で、近年はいわゆる「身寄りのない人々」の受け入れも行っています。こうした人々は支援者がついていないので、急な病気やケガの際に助けてくれる人がいません。そのため、支援者がいない人のコミュニティ、「やどかりライフ」を提案し、利用者が互いに見守り、支えあう生活を推進しています。

※本項目におけるデータは全て2024年3月31日時点のデータを使用。

2022年度と2023年度の比較 入居した物件と種類



2022年度に比べ、「支援者あり」の割合は減少、「支援者なし」の割合は微増しました。

やどかりライフ

概要



身寄りのない人々は、急に病気やケガをした際に頼れる人がおらず、生活上の大きなリスクになっています。やどかりでは支援者がいない利用者が互いに知り合い、いざという時に助け合えるように「やどかりライフ」というコミュニティづくりを推進しています。たがいに知り合えるきっかけとして、ラインチャットグループを運営。利用者同士がリアルで知り合えるよう、週に1回居場所サロンも運営しています。

※本項目におけるグラフのデータは全て2024年3月31日時点のデータを使用。

やどかりライフ参加者数

2022年度

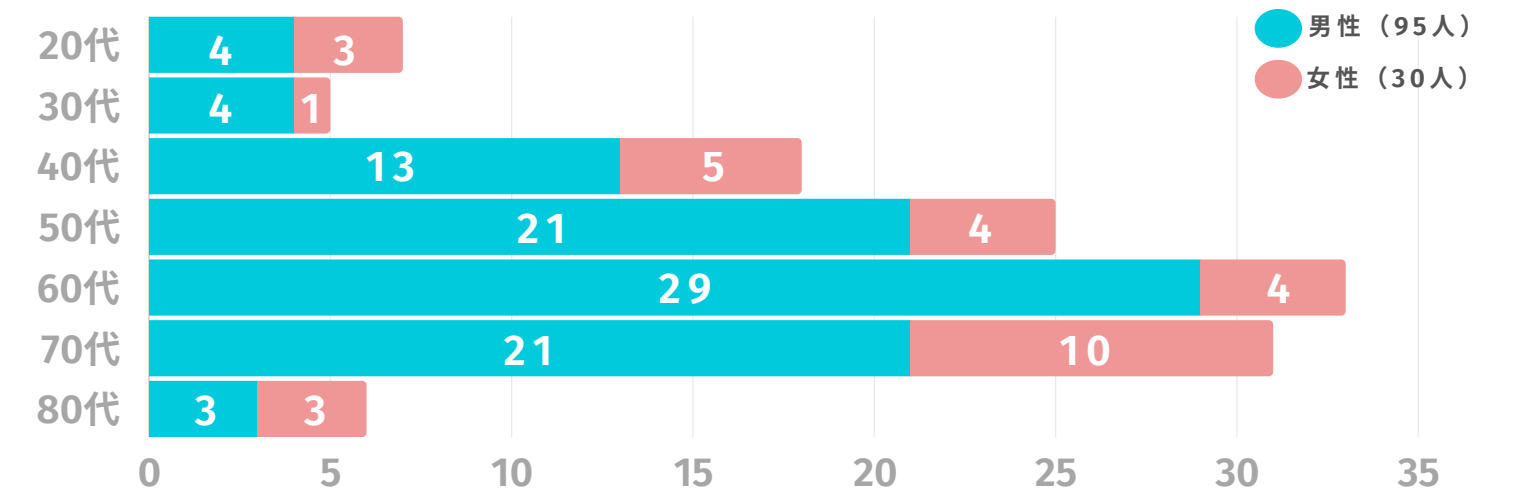
107人

2023年度

125人

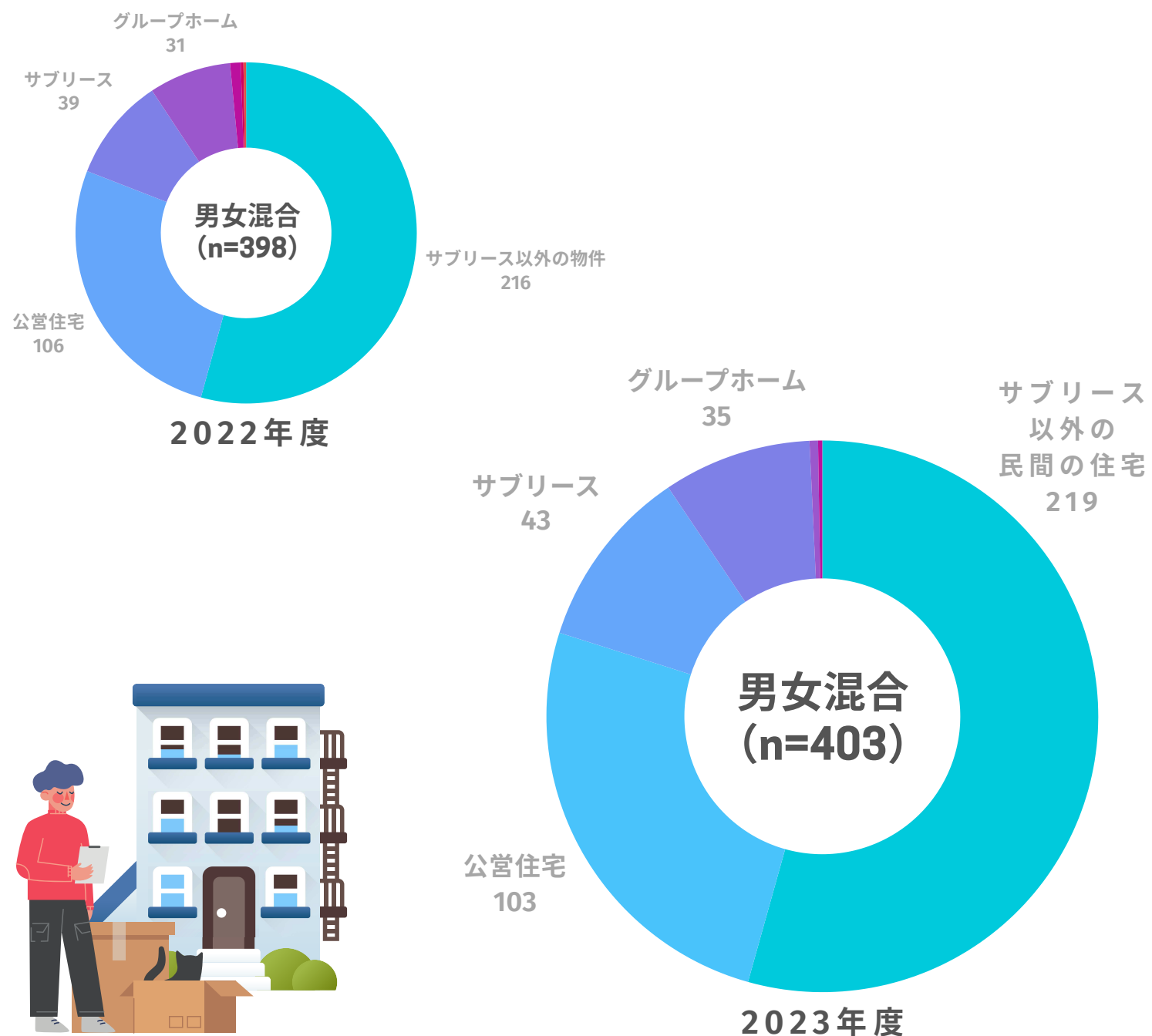
男性95人、女性30人

2023年度 やどかりライフ参加者 年齢比率



入居した物件の種類

2022年度と2023年度の比較 入居した物件の種類



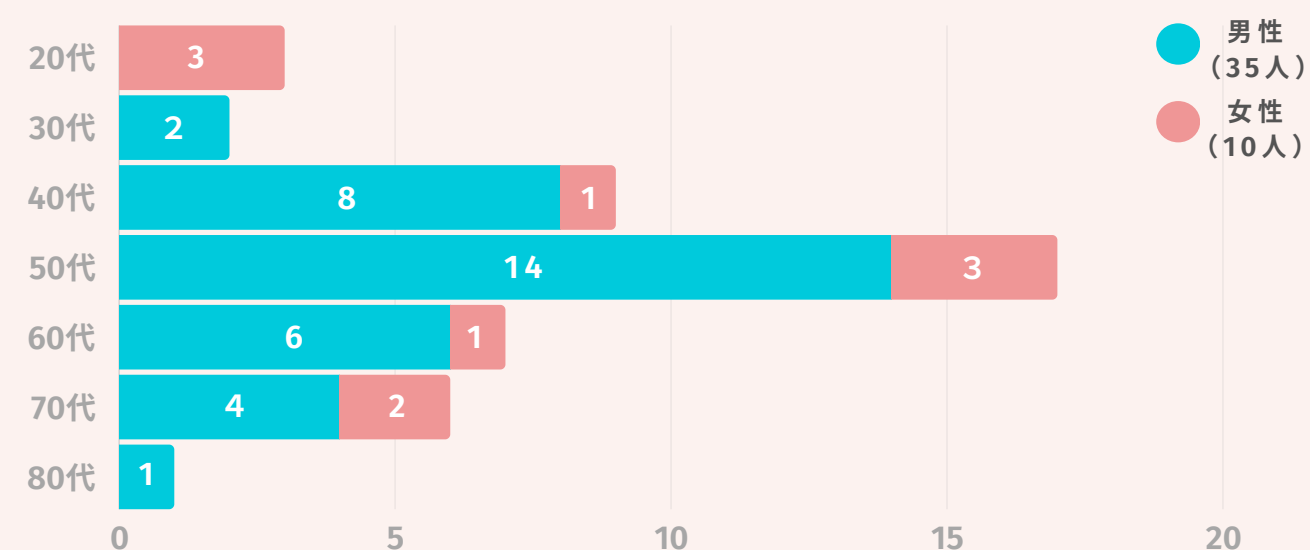
物件別としては「サブリース以外の物件」に住んでいる人が最も多い。
公営住宅の入居者の実が2022年度より減少している。

2023年新規利用者数

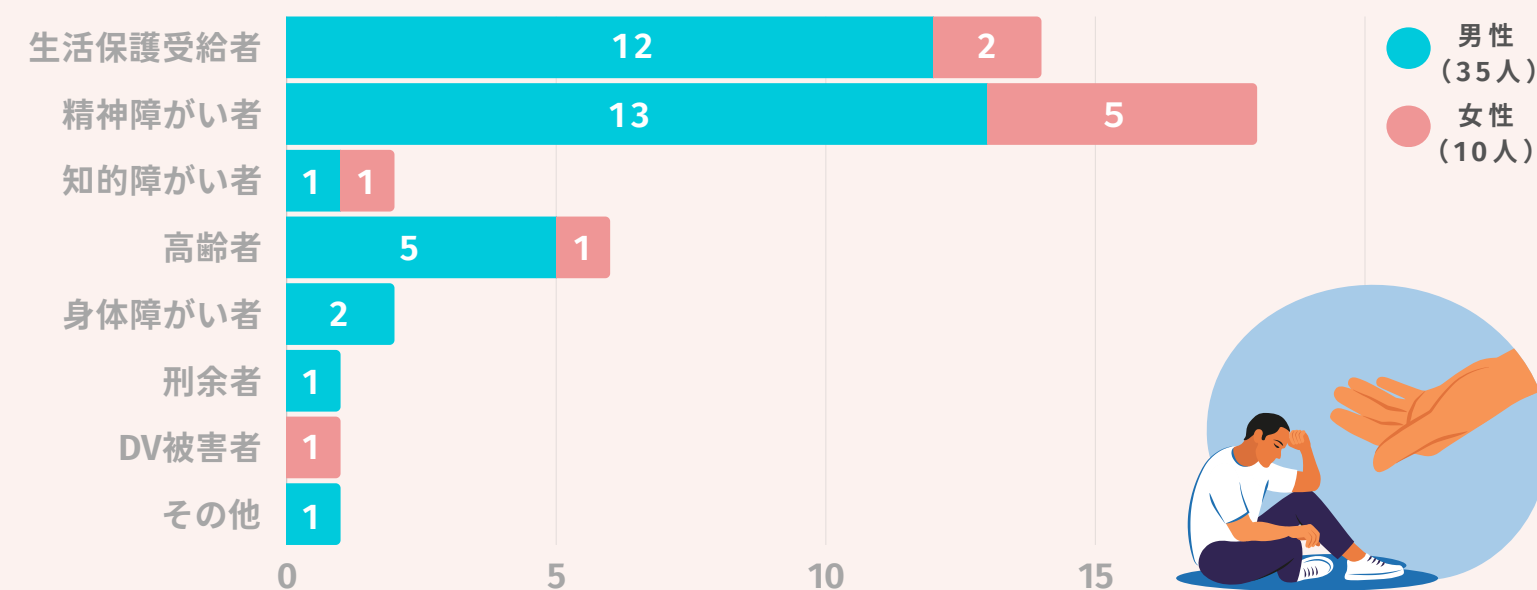
2023年度 新規利用者数

45人
男性35人、女性10人

2023年度新 規利用者 年齢分布



2023年新規利用者 属性分布



法人保証と個人保証

概要

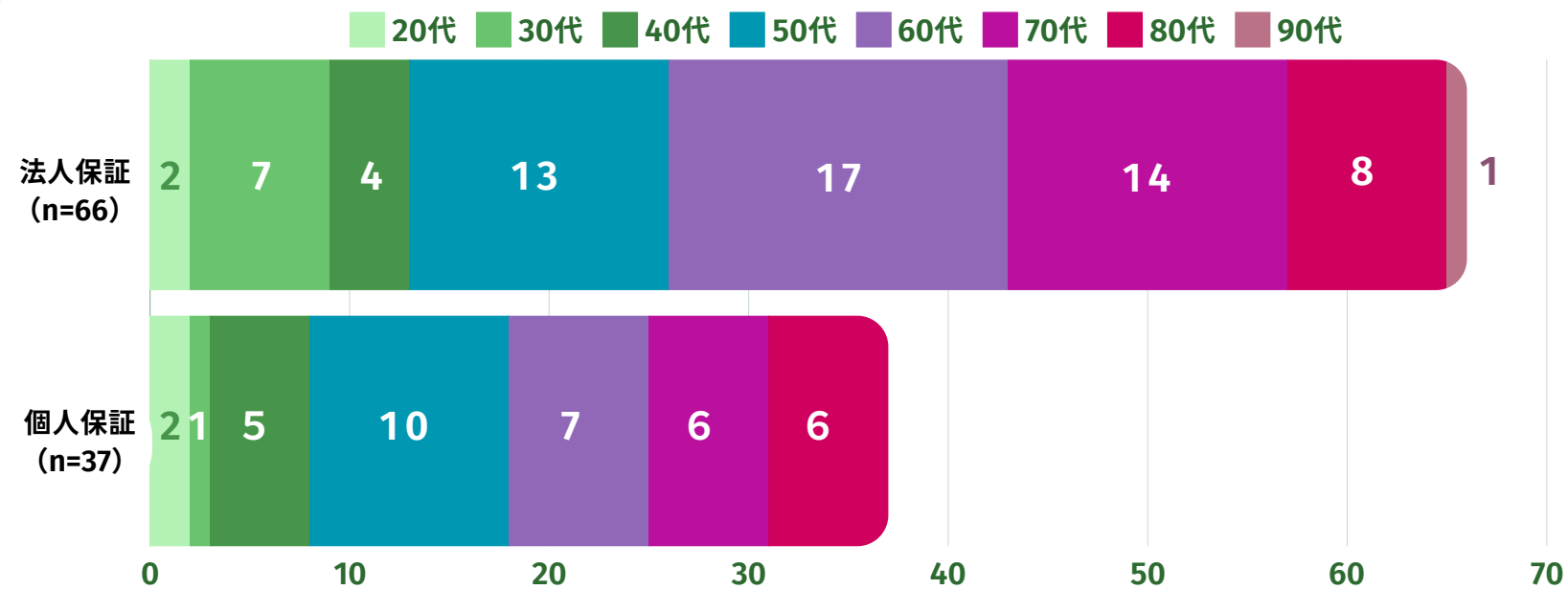


公営住宅は基本的に保証人に法人保証ではなく、個人保証でなければならないところが多いです。自治体によっては法人保証でも許可される地域もありますが、そうでない自治体もあります。その際はやどかりの理事が個人で保証を行っていますが、この形態は理事に大きな負担を負わせるもので、大変リスクが高いです。

そこでやどかりサポート鹿児島では「①全ての自治体に公営住宅の法人保証の許可してもらう働きかけ」と、「②個人保証から法人保証への移行」を随時行っていく方針です。

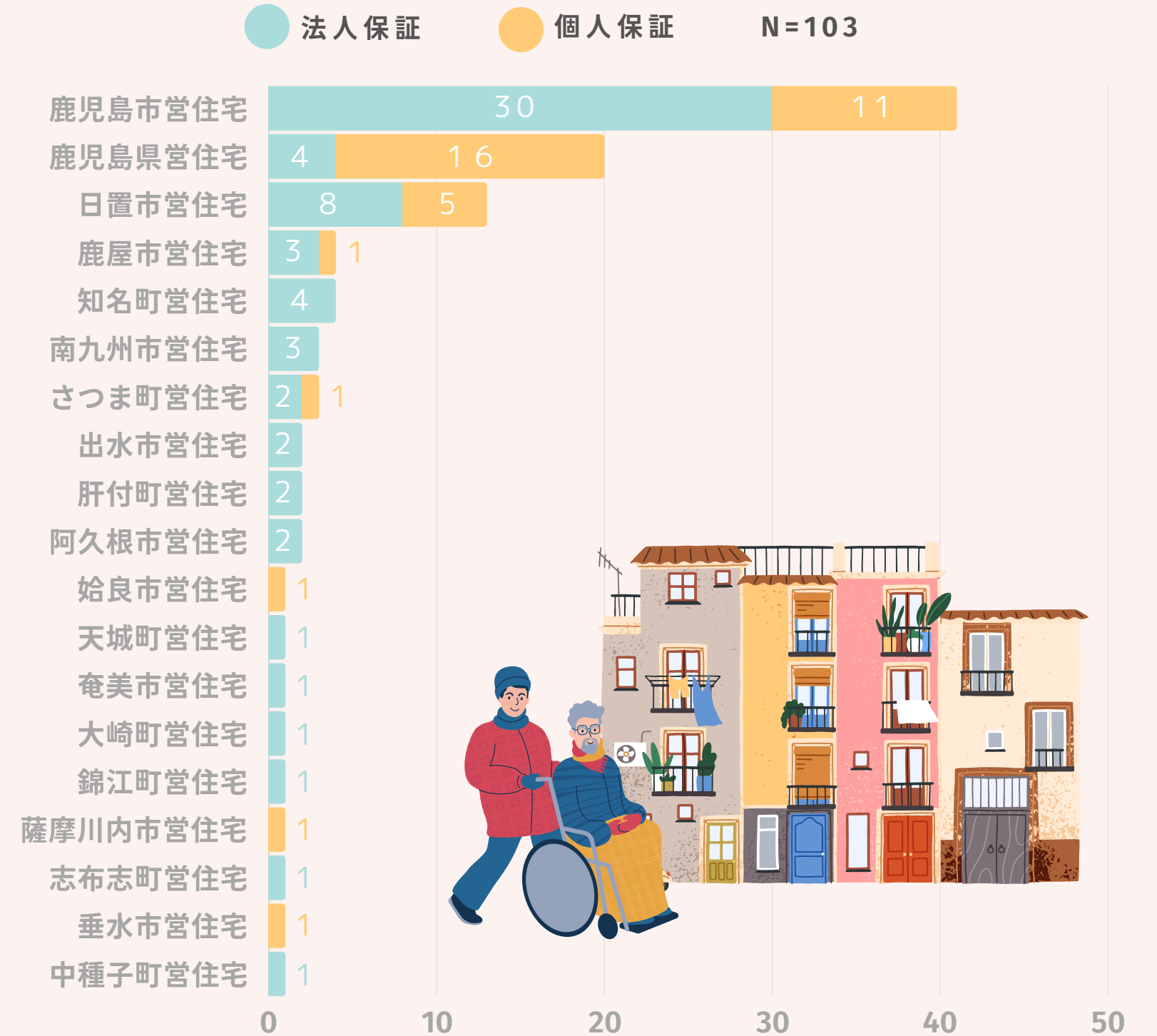
※本項目におけるデータは全て2024年3月31日時点のデータを使用。

法人保証と個人保証



公営住宅の入居者は2022年度の105人から微減し、103人になりました。

公営住宅の利用者と保証区分



政府は公営住宅の連帯保証制度を廃止していく考えを示しています。今後はやどかりでの公営住宅の保証件数は減少していくものと考えられます。

保証事故件数とその内容

概要



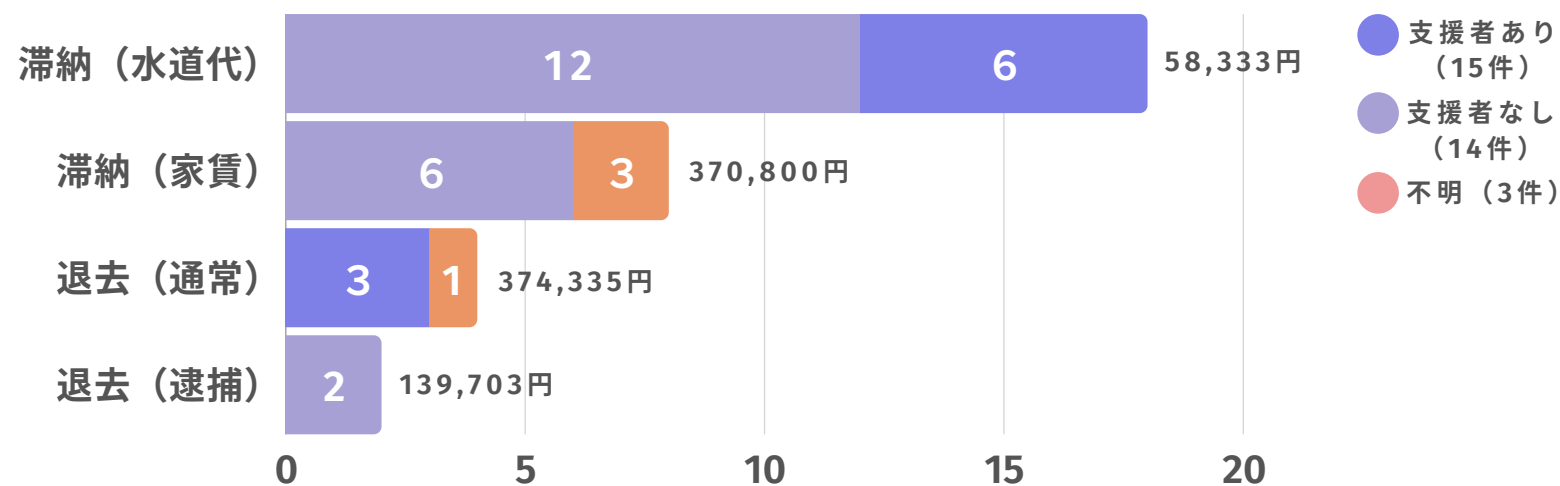
身寄りがない方を保証しているやどかりでは、孤独死や失踪など保証事故件数が多くなればなるほど未回収額が増加します。

設立18年を迎え、利用者の高齢化が今後ますます進んでいく事が予想されます。これに備え、コミュニティの形成による見守りの強化や、IoTセンサーの導入など、補償事故を防ぐための対策を整備していく必要があります。

※本項目におけるデータは全て2024年3月31日時点のデータを使用。
事故の発生件数は『延べ回数』とする

保証事故の種類と件数

2023年保証事故件数 (N=32)



※金額は「請求額」を表示

2023年度の保証事故件数は32件。「支援者あり」の保証事故件数は15件（47.9%）、「支援者なし」の保証事故件数は14件（43.7%）となりました。

2023年保証事故件数と代位弁済額 (N=32)

	件数	件数 (支援者あり)	件数 (支援者なし)	件数 (不明)	請求額
滞納(水道代)	18	6	12	0	58,333円
滞納(家賃)	8	0	6	3	370,800円
退去(通常)	4	3	0	0	374,335円
退去(逮捕)	2	0	2	0	139,703円
合計	32	9	20	3	943,171円

やどかりでは、LINEを利用した安否確認やIoTセンサーの導入も開始しています。利用者さんの理解なしには進めていけない部分があるので、日頃からの利用者とのコミュニケーションが大切です。ピアサポーターなどを通じ、来年度も利用者さんとのつながりの強化に取り組んでいきます。

2023年度 住宅確保要配慮者に対する相談実績

概要



やどかりサポート鹿児島が居住困難者に対して相談支援事業です。

居住困難者からの電話やメールなどを通して相談を受けつけています。

平成29年度からは鹿児島県居住支援協議会における鹿児島あんしん居住サポート事業として相談を受理しています。

223日運営を行い、272件の相談がありました。そのうち67件を住宅確保につなげることができました。

※本項目におけるデータは全て2024年3月31日時点のデータを使用。
2023年4月～2024年1月は、鹿児島県あんしん居住サポート事業（鹿児島県居住支援協議会）として相談窓口の設置を行っている。

2023年度 相談実績集計表

集計月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談日数	20日	20日	22日	20日	21日	20日	21日	20日	20日	19日	19日	20日	223日
相談件数 (①+②)	27	26	28	21	25	18	25	15	20	21	22	24	272
①新規相談件数 (a+b)	23	23	27	20	22	17	20	14	18	21	21	22	248
a)代表電話着信	21	18	25	18	20	14	19	14	17	20	18	20	224
b)その他の手段 (Mail、FAX、SNS、予約のない来所)	2	5	2	2	2	3	1	0	1	1	3	2	24
①継続相談件数 (c+d)	4	3	1	1	3	1	5	1	2	0	1	2	24
c)代表電話着信	4	2	1	1	1	1	5	1	1	0	1	0	18
d)その他の手段 (Mail、FAX、SNS、予約のない来所)	0	1	0	0	2	0	0	0	1	0	0	2	6

2023年度 住宅確保要配慮者に対する相談実績

2023年度 住居確保実績

集計月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談日数	20日	20日	22日	20日	21日	20日	21日	20日	20日	19日	19日	20日	223日
住宅確保	9	6	8	7	5	9	5	3	3	1	3	8	67
(内、やどかりサポート鹿児島を利用)	9	6	8	7	5	9	5	3	3	1	3	8	67
(内、公営住宅)	2	0	1	1	1	0	1	0	0	0	1	0	7
(内、連携した団体を利用)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2018～2023年度住宅確保数推移

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	根拠
鹿児島市内	25件	48件	69件	47件	72件	60件	やどかりサポート鹿児島実績
鹿児島市以外	8件	14件	16件	9件	24件	7件	やどかりサポート鹿児島実績
小計	33件	62件	85件	56件	96件	67件	

2018～2023年度 相談件数推移

		2018	2019	2020	2021	2022	2023	根拠
鹿児島市内	新規	71件	74件	104件	161件	125件	146件	やどかりサポート鹿児島実績
	継続	59件	27件	19件	22件	95件	24件	やどかりサポート鹿児島実績
	小計	130件	101件	123件	183件	220件	170件	
鹿児島市以外		165件	181件	209件	213件	270件	102件	合計－（鹿児島市内小計）
合計		295件	282件	332件	396件	490件	272件	県協議会 年度末実績報告

相談支援事業

概要



「働きたい」「家の家事を手伝ってほしい」「退院するために住むところを一緒に探してほしい」「みんなと一緒に活動したい」障害をお持ちの方がそういう思いをいただき、最初に利用するサービスが、相談支援事業です。

相談支援専門員やピアサポーターが丁寧にお話を伺い、福祉サービスを通じて新たなつながりを創出し、あたたかなコミュニティ作りを手伝っています。

指定特定相談支援事業

障害のある方やご家族が障害福祉サービスを利用するにあたって、相談ができる窓口として運営されています。

指定一般相談支援事業

地域に出てくるまでの支援を行う「地域移行支援」と、地域で暮らし続けるための「地域定着支援」を通して、地域生活に関する総合的な支援を行っています。

日常生活自立支援事業

認知症高齢者，知的障害者，精神障害者等のうち判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう，利用者との契約に基づき，福祉サービスの利用援助等を行っています。

計画相談支援

265名（新川事務所のみ。加えて西田さんの件数）の方の担当を行い、地域で生活する障害をお持ちの方の支援をしました。

※本項目におけるデータは全て2024年3月31日時点のデータを使用。

2023年度 指定特定相談支援事業利用者数

591人

2023年度 計画相談支援利用者数

1286人

退院支援



2023年度は18名の退院支援に取り組み、7名の退院者を出すことができました。退院した方をピアサポーターが招待する、「やどかりサロン」を開催しました。素敵な空間で、ゆっくりした時間を過ごすことが出来ました。

過去5年間で45名の方に退院していただくことになりました。

地域定着支援



2023年は退院した方の地域での定着支援にも重点的に取り組みました。退院した方の生活を充実させるため、希望にそって外出や調理を行っています。

地域移行支援



地域移行支援をきっかけに、弁護士さんと交流を行い、弁護士×ピアサポーター×精神保健福祉士で、経験交流会を開催しました。

委託事業 ピアサポーターステップアップ事業

概要



鹿児島市で養成されたピアサポーターのステップアップの機会をたくさん提供する事業です。

ピアサポーターがやりがいを感じ、そしてピアサポーターの持つ力を地域の力として還元できるように、様々な活動を行っています。

委託元	鹿児島市
委託事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 「市民健康まつり」に参加（各保健センターにて開催，計5回） リカバリーストーリー計5回発表（鹿児島大学医学部保健学科生へ，民生委員・児童委員へ等） ピアサポーターが関りをもち、地域移行支援や退院後の支援を行う。 地域移行支援にて退院した方を中心に，サロンやどかりを2回開催 ピアサポーター交流会への参加（10回） ピアサポーター運営によるフォローアップ研修会を開催
委託期間	2023年6月1日～2024年3月31日

スナップショット



ピアサポーター同士の交流、月に1回の会議を行っています。



退院した方が、バスでスムーズに移動できるように、時刻表を調べています。

独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業（WAM助成）
ミッションへの参加が互助を促進する
当事者主体のシェルター運営事業

概要

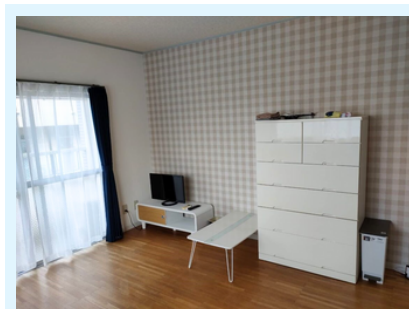


令和4年度補正予算による助成金を受け、鹿児島市内にシェルターを3部屋運営し、近隣のやどかり利用者にシェルター入居者の支援を行ってもらうという事業を行いました。2023年度はシェルターで延べ30人、延べ29世帯を受け入れました。

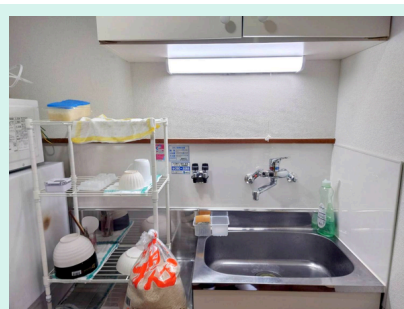
シェルターの近くに住んでいる利用者が入居者のサポートを行うことで、シェルター入居者との間に人間関係が生まれ、退去が地域移行がスムーズになることが分かりました。

※本項目におけるデータは全て2024年3月31日時点のデータを使用。

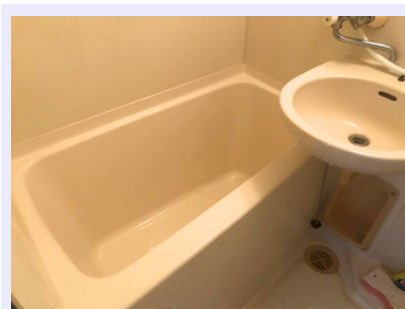
シェルター室内の様子



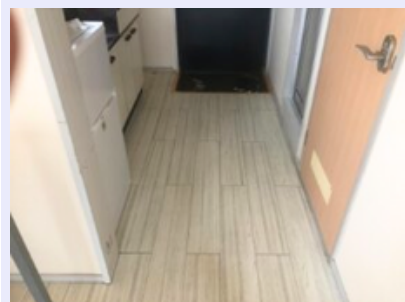
シェルター①



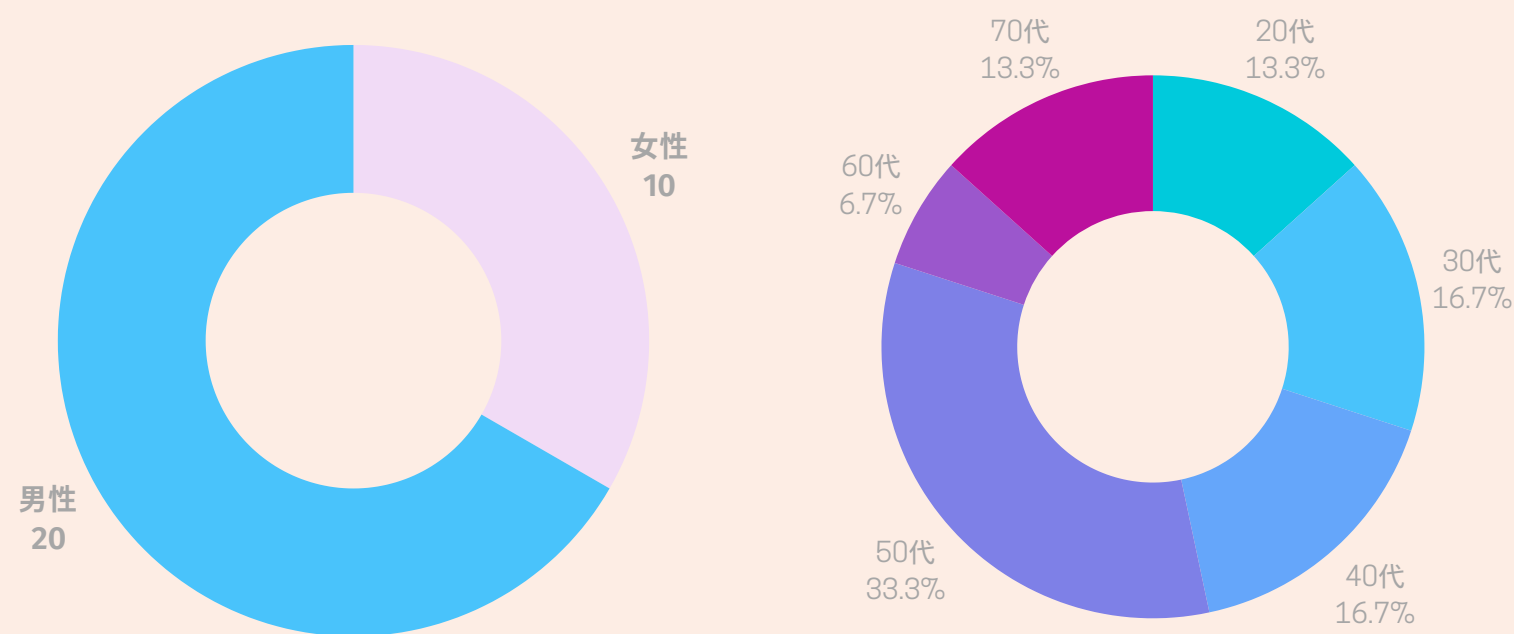
シェルター②



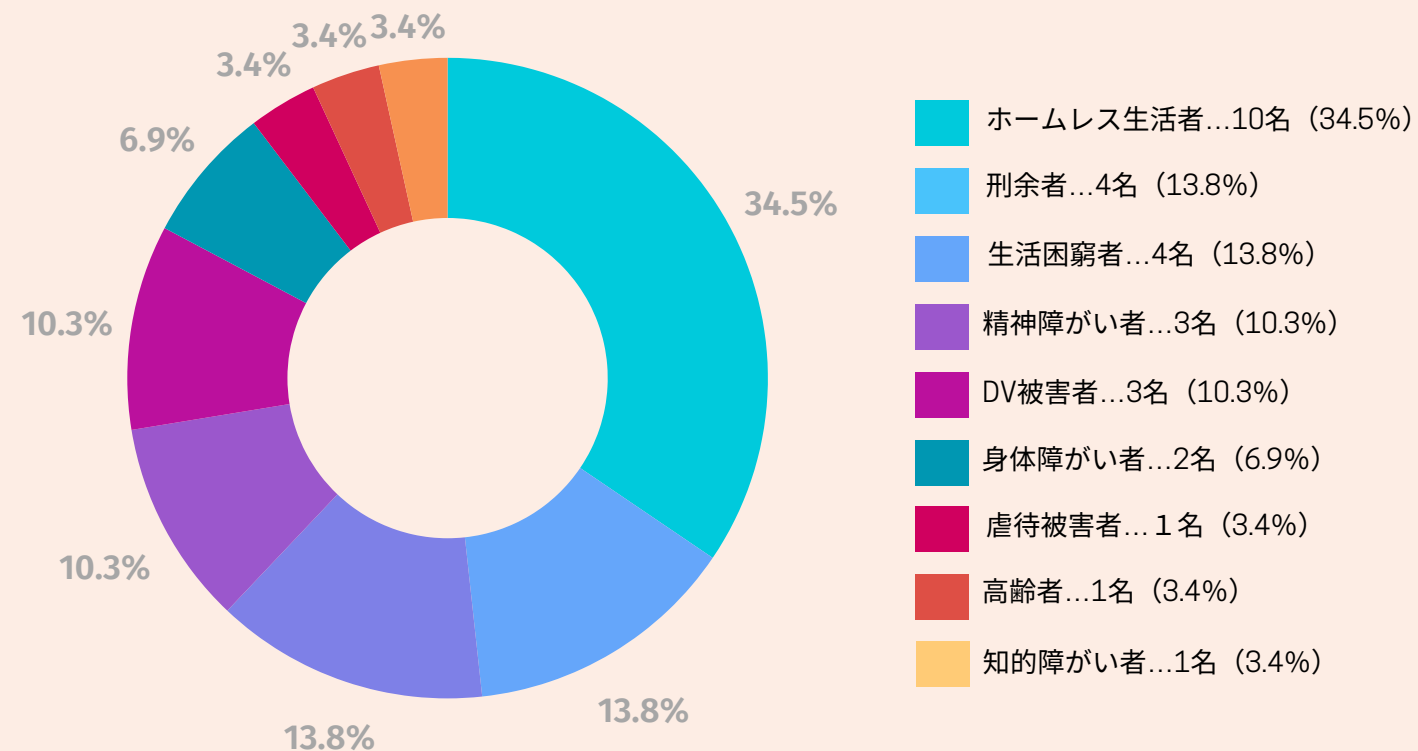
シェルター③



シェルター利用者の年齢・性別（延べ人数 n=30）



シェルター利用者の属性（延べ世帯数 n=29）



2023年度は昨年度より1人シェルターを利用される方が増えました。やどかりのシェルターには一般のシェルターでよくある滞在日数制限がありません。このため、他団体のシェルターを退去後にやどかりのシェルターを使用された方も何人かおられました。

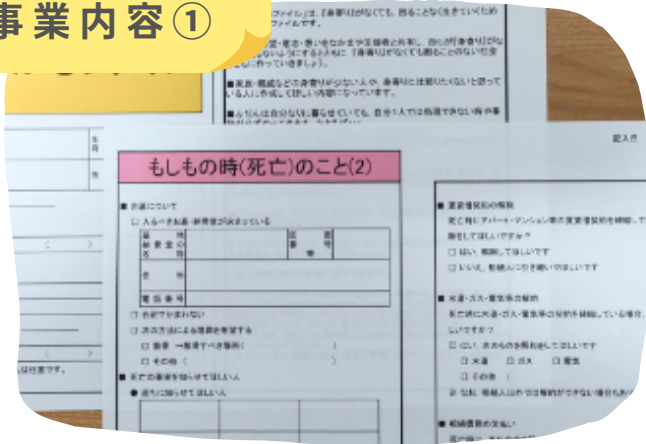
一般社団法人全日本冠婚葬祭互助会社会貢献基金
地域葬・互助会葬を目指す「つながるファイル」事業

概要



身寄りのない人どうしが支えあい助けあう「互助する暮らし方」を営み、なかまの最後にあっては見送りあい弔いあう関係を築き、「地域葬・他人葬・互助会葬」があたり前に行われる地域を創造することを目的とした事業です。参加者の終末期や死後事務の意思決定を書き残す「つながるファイル」を書く会や、共同墓の検討会を開催。広報・周知のためのリーフレットも作成しました。

事業内容①



「つながるファイルを書く会」の実施
(17回、参加延べ人数79名)

『身寄り』がないということは、自分のことを代わりに説明してくれる人がいないことを意味します。そのため医療決定や死後対応の場面で困難に陥りがちです。「つながるファイル」はいわゆるエンディングノートとたいへん似たような内容で、『身寄り』がなくても困ることなく生きていけるようにするための情報共有ファイルと定義しています。事業参加者のためにファイルを書く会を通年で実施しました。

事業内容②



「つながるファイルを語る会」の実施
(3回、参加延べ人数15名)

つながるファイルを書く際に最も難しいのは終末期の医療の決定です。「もしバナゲーム」は、35枚のカードに死の間際に「大事なこと」として人がよく口にしている言葉が書いてあり、自分にとって重要なものを選んでいくゲーム。自分にとって何が重要なのか、そして、なぜそれが重要なのかを考え、理解することができるものになっています。

事業内容③



「居場所サロン」の開催
(60回、参加延べ人数419名)

「つながるファイルを書く会」「つながるファイルを『語る』会」に加え、「地域葬」「互助会葬」を行うコミュニティの絆を深めていくために、また新規参加者を増やしていくため「居場所サロン」を継続的に実施しました。

事業内容④

やどかりサポート鹿児島
共同墓設立に関する検討会



「共同墓設立に向けた検討会」を開催
(4回、参加延べ人数46名)

共同墓の設立のための検討会を4回開催しました。つながるファイルの説明や、共同墓や葬儀の具体的な内容について事業者の方をお招きし、全4回の検討会を行いました。

事業内容⑤



事業の広報のためのリーフレット作成

「緊急連絡先となることによる支援に関する契約」と「死後事務委任契約」を行う事業、『つながるあんしん事業』広報のためのリーフレットを業者に頼んで作成しました。

関係者や事業に興味を持ってくださった方に配布しました。

九州ろうきん「NPO助成」 ～つながろう日置 支え合いを生むための交流会開催 および LINE グループによる安否確認の実現～

概要



日置市は人口約47,000人(2022年9月時点)の鹿児島県の中央部に位置する市で、やどかりの地域ふくし連帯保証の利用者12名も日置市で生活しています。

鹿児島市内においては「当事者主体の居住支援」が進展し、「身寄りがない」方による支え合い(互助会)の動きが活発ではあるものの、日置市においてはまだまだそうした活動をコーディネートできていません。

当事者どうしの支えあいを創出し、それらがリアル・バーチャルの双方で維持されるための会を定期開催します。また、LINEを活用した安否確認を開始しその運用維持を目指す事業です。

事業内容



交流会の実施(年4回) LINEグループの立ち上げ

日置の利用者や支援者を招いて交流会を実施しました。日置市は鹿児島市と違って利用者の物件の距離が離れており、車がないと移動が難しい状態にあります。車による送迎を行うことで、利用者さんが参加しやすくなりました。また、コミュニティ内で一緒に活動してくれる人を増やすため、支援者にも積極的に声をかけ参加していただきました。

また、離れた距離に住む人々の継続的な交流を可能にするためLINEグループも立ち上げました。

内閣府 令和5年度 地域における孤独・孤立対策に関するNPO等の取組モデル調査 当事者主体の互助活動を推進する居場所運営と アウトリーチ活動

概要



やどかりサポート鹿児島の「地域ふくし連帯保証」の利用者は、その多くが身寄りがいないか身寄りに頼ることができず、社会的に孤立しています。身寄りがいないということは自身を支えてくれる家族がいないのと同時に、自らが支えるべき家族がいないことをも意味するのであって、役割を喪失している方も多いです。

本事業の助成を得て「①居場所の運営」と「②孤独・孤立状態の方へのアウトリーチ」の2つの取組みを行いました。

事業内容



居場所の運営(32回実施)

居住困難を抱えた人々が交流できるように居場所サロンを運営。参加者は開始時から開始後まで緩やかに増加しました。

参加者アンケートの結果もその多くが肯定的な評価でした。

事業内容



孤独・孤立状態にある方へのアウトリーチ (157名対象、54回実施)

孤独・孤立状態にある方にやどかり利用者であるピアサポーターがアウトリーチする事業を行いました。

地域で孤立状態にあるのではないかとと思われる対象者157名に、アウトリーチを54回にわたって実施しました。

SOCIALSHIP2022

概要

SOCIALSHIP

非営利活動のための助成プログラム

NPO法人の多くは、資金や人材などのリソース不足から、広報活動にまで取り組むことが難しくなっているという問題を抱えています。

この問題を解決するためファンドレイジングやクリエイティブ制作のプロのサポートと共に、支援者を惹きつける広報戦略を立てるサポートを行うのがSOCIALSHIPです。

書類選考を通過したNPOには3次助成まで自社団体の分析やファンドレイザーのアドバイスを得ることができ、最終選考まで残るとHPやチラシなど団体にとって最適なクリエイティブの助成を受けることができます。

助成成果

ファンドレイザーやチラシデザイン会社の支援を得て、最終段階である3次助成まで残ることができました。

頂いた助成で寄付チラシを作成し寄付の募集に使わせていただきました。

すべてを失ってももう一度つながれる社会を構築したい。

「これで安心だね」と思っていました
「孤独死ゼロアクション」は募集までの経緯を公開しています。

「これで安心だね」と思っていました
「孤独死ゼロアクション」は募集までの経緯を公開しています。

誰かのそばに、誰かがそばに。

「これで安心だね」と思っていました
「孤独死ゼロアクション」は募集までの経緯を公開しています。

孤独死ゼロアクションは、「つながり」が社会的孤立や孤独死をゼロにする社会を目指しています。

シニアな世代に加え、いびきグループのメンバーなど、様々なニーズを解決することで利用者の「つながり」を促進し、孤独死をゼロにします。

アクション1
LINEを使ったつながり・見守り、つながりを維持し孤立や孤独死を防止。

アクション2
従来の見守りが難しい方に、プッシュ通知機能のついたLINEを使った見守り。

アクション3
離れたところに住んでいる利用者の交流のため、オンラインサロンを開発。

アクション4
つながりや交流の場となる施設サロンを立ち上げ、見守りも実施。

孤独死ゼロアクションをぜひ、ご寄付で支えてください。

私込取振票
振り込先
やどかりサポート鹿児島
〒900-0001 鹿児島市中央1-1-1
090-9842-1111

振り込金額
5,000円 10,000円 30,000円
※任意で設定いただけます

ご寄付は、例えばこんなことに使われます。

5,000円
10,000円
30,000円

スマートフォンからもご支援いただくことができます。

スマートフォンからもご支援いただくことができます。

スマートフォンからもご支援いただくことができます。

3次助成で作成した寄付チラシ

受賞やメディアへの掲載

地域再生賞



地域再生
大賞

ブロック賞<九州・沖縄>

第14回
地域再生賞
ブロック賞を
受賞しました！



地域再生大賞は自分たちの住む地域を元気にしようと各地で頑張っている人たちの努力を称えるため、全国の地方新聞やNHK、一般社団法人共同通信社が主催し、2010年度からNPOなどの優れた活動を毎年度、表彰しています。

やどかりサポート鹿児島は、連帯保証人がおらず、賃貸住宅が借りられない人に「連帯保証」を提供していることに加え、地域の福祉従事者が定期的なフォローを行って孤立を防いでいること、支援を受ける人同士の「互助」の支援にも取り組んでいることが評価されました。

丸紅基金



2023年
丸紅基金を
いただきました！



丸紅基金は総合商社丸紅株式会社ならびに丸紅グループの役員、社員、元社員、その他関係者の寄付により、全国の福祉団体へ行われている福祉助成です。設備、機器、車両、建屋のほか、各種団体が行う調査・研究活動、文化活動、教育事業等さまざまな分野へ1974年より支援を続けています。

やどかりでは車両の購入費を助成いただきました。この車両は利用者さんのお宅を訪問するためのアウトリーチ活動に役立てたり、運営しているシェルターの家具家電・布団などの搬入に役立てていきたいと思っております！

これまでの実績

講演・講師実績

内閣官房（孤独孤立に関するフォーラム）/全国社会福祉協議会/一般社団法人全国居住支援法人協議会/全国権利擁護ネットワーク/全国生活困窮者自立支援ネットワーク/生活困窮者自立支援全国研究交流大会/居住支援全国サミット/日本医療ソーシャルワーク学会/社会福祉法人恩賜財団済生会/みんなの認知症情報学会/東京都世田谷区砧保健福祉センター/長野県中野市地域包括支援センター/長野県社会福祉協議会/宮城県居住支援協議会/知多地域成年後見センター/特定非営利活動法人コミュニティ実践研究センター/特定非営利活動法人わっぱの会/熊本県居住支援法人連合会/松江市社会福祉協議会/一般社団法人福岡県医療ソーシャルワーカー協会/別府市社会福祉協議会/日向市/北九州市自立支援協議会/福岡県社会福祉協議会/雲仙市地域包括支援センター/九州ろうきん鹿児島県本部/生活保護支援九州・沖縄ネットワーク/鹿児島大学/鹿児島国際大学/鹿児島県/鹿児島県居住支援協議会/鹿児島県社会福祉士会/鹿児島県民生委員児童委員協議会/鹿児島県介護支援専門員協議会/一般社団法人鹿児島県労働者福祉協議会/そお地区基幹相談支援センター/大隅くらし・しごとサポートセンター/とくのしま居住支援協議会/熊毛地区精神保健福祉部会/一般社団法人サツマスタ/祁答院組仏教婦人会連盟/グリーンコープ生活協同組合連合/一般社団法人権利擁護ネットワーク/西部後見サポートセンターうえるかむ/株式会社レキオス/社会福祉法人恩賜財団済生会支部鹿児島県済生会/済生会鹿児島地域福祉センター/奈良県居住支援地域ネットワークリーダー研修会/沖縄県ソーシャルワーク学会/自民党政務調査会/鹿屋市社会福祉協議会/香川県居住支援地域ネットワークリーダー研修会/国交省/ソーネ居住支援センター/成年後見センターリーガル・サポート鹿児島支部/久留米市居住支援協議会/一般社団法人パーソナルサポートセンター/九州厚生局/鈴鹿市在宅医療介護連携センターすずらん/日本社会事業大学専門職大学院/大牟田市居住支援協議会/居住支援協議会居住支援協議会/全国権利擁護支援ネットワーク/一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク/鹿児島県ソーシャルワーカー協会/全社協/霧島市基幹相談支援センター/曾於市/中核機関 にしもろ地区/権利擁護推進センター つなご/全国権利擁護支援ネットワーク/民児協定例会/独立行政法人福祉医療機構/鹿児島県社会福祉士会串木野日置地区支部/日本福祉大学/霧島市地域密着型サービス事業者連合会/鹿児島県青年司法書士会/鹿児島市小規模多機能ホーム連絡会

受賞実績

MBC賞/鹿児島県社会福祉協議会会長表彰/鹿児島市社会福祉 功労者表彰/公益財団法人社会貢献支援財団社会貢献者表彰/鹿児島市社会福祉協議会福祉功労者賞/かごしま市チャレンジ 大賞サポート部門受賞/ペーパーメントウェブ賞金賞/地域再生大賞（九州沖縄ブロック賞）/丸紅基金/SOCIALSHIP2022/

メディア掲載

NHK/KYT鹿児島読売テレビ/毎日新聞/南日本新聞/奄美新聞/南海日日新聞/読売新聞/SUUMOジャーナル/広報きりしま

利用決定委員会 委員

概要



やどかりでは新規の利用者が地域ふくし連帯保証事業の利用申請を行う際などに、利用委員会が書類を審査して決定を行っています。

利用決定委員には法律の専門家や不動産業者、福祉の専門家など様々な分野の方が関わっています。

6つの合議体があり 利用決定審査の際に利益相反が起こらないように調整しています。

第1合議体

委員長 江之口 博行
委員 芝田 淳
委員 佐澤 佳史朗
委員 有馬 利洋

第2合議体

委員長 上江川 直子
委員 定岡 雅文
委員 溝内 義剛
委員 山下 泰彦

第3合議体

委員長 福留 弘
委員 鶴田 啓洋
委員 茶屋道 拓哉
委員 森迫 直子

第4合議体

委員長 林 千代子
委員 竹中 寛子
委員 諏訪 洋一
委員 染河 敏幸

第5合議体

委員長 堀之内 洋一
委員 有山 さつ美
委員 新川 昇一郎
委員 坂東島 梨香

第6合議体

委員長 坂口 松平
委員 木下 精子
委員 中窪 ゆたか
委員 西田 鉄心

やどかりサポート鹿児島 会員名簿

2023年度 やどかりサポート鹿児島 会員数

会員区分	正会員	賛助会員	合計
個人	31	14	45
団体	6	2	8
合計	37	16	53

番号	会員区分	個人/団体	個人名・団体名	番号	会員区分	個人/団体	個人名・団体名
1	正会員	個人	上野牧門	13	正会員	個人	新川 昇一郎
2	正会員	団体	株式会社マシューズ	14	正会員	個人	定岡 雅文
3	正会員	個人	有馬利洋	15	正会員	個人	染河 敏幸
4	正会員	団体	司法書士法人中央ライズアクロス	16	正会員	個人	直井 圭介
5	正会員	個人	元 佑也	17	正会員	個人	木下 精子
6	正会員	個人	假屋 智広	18	正会員	団体	医療法人慈和会 大口病院
7	正会員	個人	竹中 寛子	19	正会員	個人	小松尾 ひで子
8	正会員	団体	社会福祉法人 落穂会	20	正会員	個人	西田 鉄心
9	正会員	個人	宇都宮 孝久	21	正会員	個人	山本 豪太
10	正会員	個人	坂口 松平	22	正会員	個人	上江川 直子
11	正会員	個人	石黒 浩二	23	正会員	個人	山川 伯明
12	正会員	団体	株式会社アパートナー鹿児島支店	24	正会員	個人	町 かおり

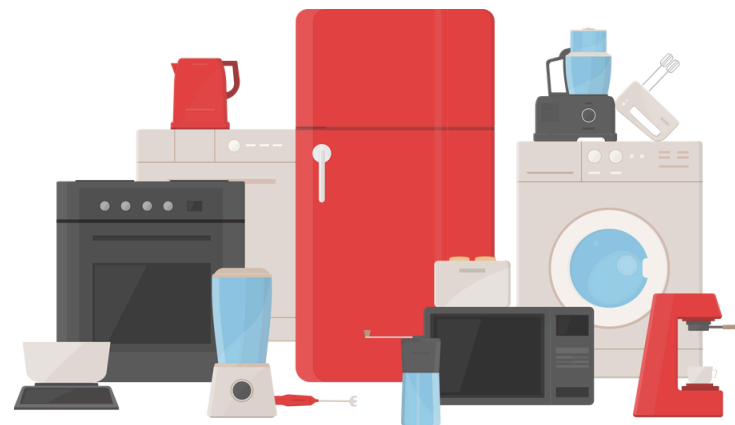
やどかりサポート鹿児島 会員名簿

番号	会員区分	個人/団体	個人名・団体名	番号	会員区分	個人/団体	個人名・団体名
25	正会員	団体	吉野病院	37	正会員	個人	小林 浩隆
26	正会員	個人	廣野 千佳				
27	正会員	個人	鶴田 啓洋				
28	正会員	個人	轟 真一郎				
29	正会員	個人	立山 裕子				
30	正会員	個人	芝田 淳				
31	正会員	個人	加藤 久佳				
32	正会員	個人	江之口 博行				
33	正会員	個人	梅垣 晃一				
34	正会員	個人	天羽浩一				
35	正会員	個人	高木幸一郎				
36	正会員	個人	山下泰彦				

番号	会員区分	個人/団体	個人名・団体名	番号	会員区分	個人/団体	個人名・団体名
1	賛助会員	個人	松本 雄一郎	13	賛助会員	個人	坂上 昌子
2	賛助会員	個人	二之宮 真由美	14	賛助会員	個人	小蓬原 千津留
3	賛助会員	個人	岡元 陽子	15	賛助会員	個人	坂口洋之
4	賛助会員	個人	平田 朱音	16	賛助会員	個人	岸崎晃一郎
5	賛助会員	個人	平田 由里子				
6	賛助会員	個人	瀬戸 司				
7	賛助会員	団体	大丸商事有限公司				
8	賛助会員	団体	医療法人共助会三州脇田丘病院				
9	賛助会員	個人	川路 太雅				
10	賛助会員	個人	平田 幹子				
11	賛助会員	個人	福迫 剛				
12	賛助会員	個人	野口 英一郎				

やどかり住まい安心システム「すまほっと」契約書

概要



賃貸住宅に入居中の方が亡くなった場合、残された財産の残置物撤去や部屋の契約解除などの死後事務が発生します。特に単身世帯の場合は相続人がいないことで手続きが長期化・複雑化するため賃貸不動産市場で高齢者が敬遠される原因ともなっています

やどかりサポート鹿児島では「地域ふくし連帯保証」を利用して、賃貸住宅に入居される方のために「すまほっと」という契約を行い、何かあった場合の退去時の手続きをスムーズにしています。

利用者にも何かあった場合に自らの財産がどうなるのか予め理解できる利点があります。

「すまほっと」説明書

やどかり住まい安心システム「すまほっと」

あなたももし賃貸住宅を退去することになったときや亡くなられたときに、賃貸契約の解除手続きやお部屋の中にある荷物がどうになってしまうのか、不安や疑問を感じることはありませんか？ やどかりサポート鹿児島では、賃貸住宅にお住いの方、賃貸住宅にこれから入居される方が地域ふくし連帯保証を利用して、終の先まで安心して生活を送れるためのシステム「すまほっと」の利用をすすめております。ご自身の住まいやその中にある大事なものが、その後どうなるのか分かっていけば安心につながりますし、貸す側である大家さんや連帯保証人であるやどかりサポート鹿児島も安心につながります。

『すまほっと』の利用について

- ① 解約手続きなく退去されたときや亡くなられたときに、やどかりサポート鹿児島がお部屋の解約手続きを行います。
- ② 解約手続きなく退去されたときや亡くなられたときに、お部屋の中にある荷物をやどかりサポート鹿児島が処分いたします。なお、処分にあたっては、大事なものをその後どのように取り扱ってほしいか、可能な限り、ご自身の希望に沿って行えるよう、ご希望をうかがいます。

ご希望については、別紙【ご希望について】にご記入の上、ご提出ください。

※原則、料金はかかりません。ただし、ご希望の内容によっては、料金をお願いする場合があります。

※ご希望の内容によっては、ご希望に添えない場合があります。

死後事務委任契約（有料）

ご希望の内容によっては、死後事務委任契約を契約する必要がある場合があります。死後事務委任契約については、NPO 法人つながる鹿児島が、地域や内容によりますがお手伝いできる場合があります。亡くなった後の事が心配、家族に頼れない又は頼れる家族がいない、誰にも迷惑をかけたくない、このような悩みや不安を抱えていたら、お気軽にご相談ください。



「死後事務」とは？

亡くなった後の事務的な手続きのことです。例えば、家族・友人への連絡、葬儀・埋葬手続き、役所・関係機関への届出などです。※遺産の相続に関することは含まれません。

NPO 法人やどかりサポート鹿児島
〒890-0056 鹿児島市下荒田4丁目11-12 しのびビル下荒田201
TEL 099-800-4842 FAX 099-800-4845

「すまほっと」契約書 (1/2)

やどかり住まい安心システム「すまほっと」
 賃貸借契約の解除に関する停止条件付委任契約及び停止条件付贈与契約
 死後の賃貸借契約の解除に関する委任契約及び死因贈与契約

年 月 日

甲：鹿児島市下荒田4丁目1番12号しのびビル下荒田201
 特定非営利活動法人やどかりサポート鹿児島
 代表理事 芝田 淳

印

乙：氏 名

印

【前提】

乙は、今般（現在）、甲の提供する「地域ふくし連帯保証」を利用して、賃貸住宅に入居します（しています）（当該物件を本件物件という）。

ところで、乙は、本件物件を退去することになった場合や自身が死亡した場合において、その後も処置を行う身寄りのものがおらず、今後のことを不安に感じています。そこで、乙が本件物件を退去することになった場合や死亡した場合に備えて、本契約を締結します。

乙は、本契約を行うことが、乙自らにとっての安心につながるものであるとともに、貸す側である賃貸人や連帯保証人である甲にとっても安心につながるものであるとの説明を受け、これを理解しました。

【賃貸借契約の解除に関する停止条件付委任契約及び停止条件付贈与契約】

1. 乙は、乙が甲の提供する連帯保証を利用して居住している本件建物について、甲に無断で1カ月以上留守にしないことを約束します。ただし、入院など特別な事情がある場合を除きます。
2. 乙は、乙が甲に連絡することなく2カ月以上にわたって本件建物を留守にし、甲からみて乙に連絡を取ることができない状態になった場合には、本件建物の賃貸借契約を解除する権限を甲に付与するとともに、本件建物内に存する動産類の一切（金銭、預金通帳、有価証券等を除く）を甲に贈与し、甲はこれを受贈します。

【死後の賃貸借契約の解除に関する委任契約及び死因贈与契約】

1. 乙が死亡した場合、乙は、甲に対して、本件建物の賃貸借契約を解除する権限を甲に付与します。
2. 乙が死亡した場合、乙は、甲に対して、本件建物内に存する動産類の一切（金銭、預金通帳、有価証券等を除く）を甲に死因贈与し、甲はこれを受贈します。
3. 本契約締結後、乙がNPO法人つながる鹿児島などの者と、死後事務委任契約を締結した場合、前項及び前々項の死後の賃貸借契約の解除に関する委任契約及び死因贈与契約は解除されるものとします。

※なお、乙は、次のことを理解したうえで、本契約を締結するものです

1. 本来、2カ月程度留守にしたことのみをもって賃貸借契約は解除されるものではないところ、本契約では、2カ月以上留守にした場合、賃貸借契約が解除されうものとされており、乙にとって不利なものであること。
2. 本来、賃借権は相続人に相続される権利であるところ、本契約では、乙の死亡により賃貸借契約を終了させるよう甲に委任していること。

「すまほっと」契約書 (2/2)

【ご希望について】

年 月 日記入

氏名： _____

●退去時・お亡くなりになられた時の、お部屋の中にある物の処分に関するご希望

例えば「すべて処分してほしい。」「家の中で使えるものは〇〇団体に寄付してほしい。」

●お亡くなりになられた後の手続きに関するご希望

例えば「〇〇さんに連絡してほしい。」「〇〇のお墓に入れてほしい（この場合は死後事務契約になります）。」

●その他のご希望

2023年度 講演・研修等実施一覧

日付	主催	内容	担当者	テーマ
2023年5月20日	鹿児島市小規模多機能ホーム連絡会	講演	芝田	『身寄り』問題の解決に挑む
2023年7月1日	霧島市地域密着型サービス事業者連合会	講師	芝田	(霧島市版身寄り問題ガイドラインの普及啓発のための研修会)
2023年7月8日	日本福祉大学	講演	芝田	『身寄り』問題の解決に挑む～単身でも孤独ではない社会を目指して～
2023年7月21日	鹿児島県社会福祉士会串木野日置地区支部	講演	芝田	「ひとりだけひとりじゃない」を支える支援
2023年8月22日	鹿児島県社会福祉協議会	講師	芝田	権利擁護について考える
2023年8月24日	『身寄り』がなくても安心して暮らせる共生のまち霧島市創造事業作業部会	勉強会	芝田、 互助会の当事者	-
2023年9月12日	民児協定例会	講演	芝田	(『身寄り』問題について)
2023年9月17日	全国権利擁護支援ネットワーク	講演	芝田	おひとり様と権利擁護
2023年9月21日	中核機関 にしもろ地区、権利擁護推進センター つなご	基調講演	芝田	『身寄り』問題の解決に挑む～制度と互助のハイブリッドを目指して～
2023年10月4日	曾於市	意見交換会	芝田	(ガイドライン策定に向けた意見交換)
2023年10月13日	一般社団法人全国居住支援法人協議会	講演	芝田	「居住支援における地域連携」
2023年10月23日	霧島市基幹相談支援センター	講演	芝田	(霧島市版身寄り問題ガイドラインの普及啓発のための研修会)
2023年11月4日	鹿児島県ソーシャルワーカー協会	講演	芝田	『身寄り』問題の解決に挑む～本人が主人公の『身寄り』問題の解決を目指して～
2023年11月10日	全国居住支援法人協議会	アドバイザー	芝田	死後事務委任や身元保証に関する基礎知識と実態

日付	主催	内容	担当者	テーマ
2023年11月12日	一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク	コーディネーター	芝田	居住支援事業を起点に地域の居住支援ネットワークを構築しよう
2023年11月14日	全国権利擁護ネットワーク九州ブロック	講演	芝田	おひとり様問題と権利擁護支援
2023年11月15日	鹿児島県居住支援協議会	パネリスト	芝田	-
2023年11月24日	大牟田市居住支援協議会	パネリスト	芝田	-
2023年12月2日	日本社会事業大学専門職大学院	講師	芝田	当事者主体の居住支援
2023年12月6日	鈴鹿市在宅医療介護連携センターすずらん	基調講演	芝田	鈴鹿市における『身寄り』問題の解決に挑む～鹿児島県への先駆的取り組みから学ぶ～
2023年12月8日	九州厚生局	基調講演	芝田	地域連携について
2023年12月20日	一般社団法人パーソナルサポートセンター	パネリスト	芝田	住み続けられるまちづくりのための互助のすすめ
2024年1月11日	久留米市居住支援協議会	事例紹介	芝田	事例紹介
2024年1月13日	成年後見センターリーガル・サポート鹿児島支部	講演	芝田	『身寄り』問題
2024年1月18日	松江市社会福祉協議会	講演	芝田、 互助会の当事者	『身寄り』問題の解決に挑む
2024年1月23日	ソーネ居住支援センター	講演	芝田	居住支援の在り方
2024年1月24日	全国居住支援法人協議会	アドバイザー	芝田	連帯保証と死後事務委任を中心に、成年後見人の法的な役割や居住支援で期待される役割を説明
2024年1月26日	国交省伴走支援事業	講演	芝田	居住支援の必要性について
2024年1月29日	全国居住支援法人協議会	基調講演	芝田	今、なぜ居住支援が必要か
2024年2月15日	鹿屋市社会福祉協議会	講演	芝田	『身寄り』問題の解決に挑む～身寄りのない方への支援について～

2023年度 講演・研修等実施一覧

日付	主催	内容	担当者	テーマ
2024年2月20日	自民党政務調査会	ヒアリング	芝田	『身寄り』問題の解決に向けた政策提案と未来への展望
2024年2月24日	沖縄県ソーシャルワーカー協議会主催の「第12回沖縄県ソーシャルワーク学会」	コメンテーター	芝田	沖縄の“住まい”の支援から見えるもの～居住支援から居住保障への論点～
2024年2月26日	全国居住支援法人協議会	基調講演	芝田	今、なぜ居住支援が必要か
2024年3月5日	休眠活動報告会	講演	芝田	人権としての住宅
2024年3月10日	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 鹿児島県済生会、済生会鹿児島地域福祉センター	講演	芝田	身寄りの無い独居高齢者等も安心して暮らせる地域社会づくり
2024年3月12日	株式会社レキオス	講演	芝田	居住支援について
2024年3月13日	沖縄市	講演	芝田	連帯保証とつながりの提供による居住支援
2024年3月15日	NPO法人COCO湘南・グループリビング運営協議会会員	講演	芝田	『身寄り』問題の解決に互助の力で挑む
2024年3月23日	一般社団法人権利擁護ネットワークほうき	講演	芝田	『身寄り』問題と市民後見人
2024年3月8日~9日	社会医療法人社団東京巨樹の会	講演	芝田	身寄り問題の解決に挑む～医療機関の取組みを中心として～

2023年度 ご寄付者一覧

2023年度 寄付総額

¥ 837.470

皆様から頂いたご寄付は、こんなことに役立てられます。

5,000円
のご寄付で、



住居を失った方のシェルター2部屋に、生活必需品をそろえることができます。

10,000円
のご寄付で、



通信手段を失った人に貸す貸出用端末2か月分の料金が払えます。

30,000円
のご寄付で、



居場所サロンでお腹を空かせた方40人に温かい食事を提供できます。

皆様から頂いた温かいご寄付をいただいたおかげで、シェルターの運営をしたり、身寄りのない人々の支援を行うことができました。本当に有難うございました！

2024年度も引き続き身寄り問題の解決に取り組んでいきます。引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

番号	寄付日	お名前	番号	寄付日	お名前
1	2023-04-03	小松尾 ひで子 様	12	2023-05-25	匿名
2	2023-04-04	山田 耕治 様	13	2023-05-30	匿名
3	2023-04-21	匿名	14	2023-05-31	匿名
4	2023-04-26	匿名	15	2023-06-01	小松尾 ひで子 様
5	2023-05-01	小松尾 ひで子 様	16	2023-06-04	匿名
6	2023-05-13	山田 耕治 様	17	2023-06-09	山田 耕治 様
7	2023-05-19	匿名	18	2023-07-04	山田 耕治 様
8	2023-05-19	匿名	19	2023-07-31	小松尾 ひで子 様
9	2023-05-19	匿名	20	2023-08-14	山田 耕治 様
10	2023-05-25	匿名	21	2023-08-18	匿名
11	2023-05-25	匿名	22	2023-08-18	匿名

2023年度 ご寄付者一覧

番号	寄付日	お名前	番号	寄付日	お名前
23	2023-08-31	小松尾 ひで子 様	34	2023-10-19	匿名
24	2023-09-15	山田 耕治 様	35	2023-10-19	茂呂 貴子 様
25	2023-09-19	匿名	36	2023-10-20	山本 豊 様
26	2023-10-11	山田 耕治 様	37	2023-10-24	松木 蘭 利範 様
27	2023-10-16	大橋 幸治 様	38	2023-10-25	窪田 雅裕 様
28	2023-10-16	野田 伸一 様	39	2023-10-26	竹中 寛子 様
29	2023-10-17	フクモト タカヒロ 様	40	2023-11-01	山元 眞一郎 様
30	2023-10-18	米山 祥子 様	41	2023-11-02	小松尾 ひで子 様
31	2023-10-19	匿名	42	2023-11-07	上竹 勝 様
32	2023-10-19	新川 昇一郎 様	43	2023-11-07	水流 寿美子 様
33	2023-10-19	滝野 隆治 様	44	2023-11-09	石黒 浩二 様

番号	寄付日	お名前	番号	寄付日	お名前
45	2023-11-10	林田 全弘 様	56	2023-12-20	司法書士法人中央 ライズアクロス 様
46	2023-11-17	匿名	57	2023-12-26	岸崎 晃一郎 様
47	2023-11-17	藤田武志 様	58	2024-01-19	匿名
48	2023-11-17	匿名	59	2024-02-06	タジリ 様
49	2023-11-17	佐藤 正隆 様	60	2024-02-19	上拾石 文子 様
50	2023-12-01	山田 耕治 様			
51	2023-12-13	匿名			
52	2023-12-18	近藤 ノリスケ 様			
53	2023-12-18	近藤 和敬 様			
54	2023-12-19	匿名			
55	2023-12-20	元 佑也 様			

2024年度事業計画書

令和6年度事業計画書

(自令和6年4月1日至令和7年3月31日)

特定非営利活動法人やどかりサポート鹿児島

1 事業実施の方針

令和6年4月1日をもって、障害福祉サービス部門については別法人で実施することとし、当法人の事業は地域ふくし連帯保証を中心とした居住支援のみとなる。さらに、同年8月10日に、特定非営利活動法人つながる鹿児島と合併する予定であり、同法人が取り組んできた『身寄り』問題の解決に関する事業を実施するようになる。

合併後は、当法人及び特定非営利活動法人つながる鹿児島において蓄積されてきた知見と経験を融合し、さらに先駆的な居住支援・障害福祉サービス・『身寄り』問題の解決に関する活動を行っていく。

具体的には、従前からNPO法人やどかりサポート鹿児島において行われてきた

①シェルター事業

②地域ふくし連帯保証

③当事者主体の居住支援

④つながるあんしん事業

及びNPO法人つながる鹿児島において行われてきた

⑤互助会の設立・運営支援

⑥『身寄り』問題に関するガイドライン・マニュアルづくりの推進

を地道に継続するとともに、

⑦グループホームの開設等の障害福祉サービス事業

に再び挑戦し、2023年度から開始している

⑧『孤独死ゼロアクション』

を拡げていく。

これらの課題に関する普及啓発活動も継続する。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容等
1居住支援事業	1 シェルター事業 住居を失い「その日の屋根」を必要とする方に対して一時的な起居の場所であり新たな生活の基礎を築くための拠点となるシェルターを提供する。
	2 地域ふくし連帯保証 保証人が確保できないがために住居の確保に困難を抱えている方に対して、地域福祉の担い手と連携し、支援者を置くことを前提として、住居の賃貸借契約における保証を提供する。 実施時期 通年 実施場所 鹿児島県全域 対象者 保証人が確保できないがために住居の確保に困難を抱えている人 新規100名、継続400名
	3 当事者主体の居住支援 地域ふくし連帯保証の利用者を中心に、「互助する暮らし方」である「やどかりライフ」を提案し、「やどかりライフ」に参加する当事者どうしが支えあい助けあうことを通じて当事者自身が主体となる居住支援を展開する。 実施時期 通年 実施場所 主に鹿児島市内 対象者 やどかりライフ参加者 150名
	4 つながるあんしん事業 当事者が支えあい助けあい活動を行うこと及び当事者が『身寄り』がないことで陥りがちな問題に対する備えを行うことを前提としつつ当法人が契約に基づく支援を提供する。 実施時期 通年 実施場所 主に鹿児島市内 対象者 20名
	5 孤独死ゼロアクション 居住支援の現場で問題でありかつ『身寄り』問題でもある孤独死を当事者自身の力でなくす・減らすことを目指す活動を行う。本年度は主に地域ふくし連帯保証参加者を中心に活動の骨格を整えていく。 実施時期 通年 実施場所 主に鹿児島市内 対象者 孤独死の恐れがある人 150名

事業名	事業内容等
2 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業	<p>1 グループホームの運営 新規に共同生活援助（グループホーム）を開設し運営する。 実施時期 2024年10月以降通年 実施場所 鹿児島市内 対象者 障害者 8名 （注）なお、2023年度まで行っていた障害福祉サービスにおける相談支援事業，地域移行事業，地域定着事業，自立生活援助は廃止する。</p>
3 身寄り問題の解決に関する事業	<p>1 互助会の設立・運営支援 『身寄り』問題の解決のためには、『身寄り』がない当事者の主体的行動が重要であるとの認識に立ち、『身寄り』がない当事者どうしが支えあい助けあう互助会の設立及び運営を支援する。 実施時期 通年 実施場所 主に鹿児島市内 対象者 150名</p>
	<p>2 ガイドライン・マニュアルづくりの推進 『身寄り』問題の解決のためには、支援者及び事業者が『身寄り』がない人の支援や受け入れについて主体的に取り組む必要があるとの認識に立ち、『身寄り』のない人の支援に関する地域ガイドライン及び組織マニュアルの作成を推進する。 実施時期 通年 実施場所 主に鹿児島県内 対象者 3乃至5市町村自治体</p>
4 居住支援，障害福祉，身寄り問題に関する普及啓発事業	<p>1 講演等の普及啓発 鹿児島，障害福祉，『身寄り』問題に関する市民，支援者，事業者，行政等の理解を深め，それぞれの課題の解決に資するため，講演等の普及啓発を行う。 実施時期 通年 実施場所 全国 対象者 1,500名（50名×30回を想定）</p>

(2)その他の事業

事業名	事業内容等
1 出版事業	書籍等の出版をする。実施なし。
2 物品の販売事業	物品等の販売をする。実施なし。
3 福祉に関する研究事業	福祉に関する研究を行う。実施なし。

NPO法人やどかりサポート鹿児島と
NPO法人つながる鹿児島は
2024年8月10日をもって合併いたします。

合併後も居住支援や身寄り問題に
今まで以上に取り組んでまいりますので、
引き続きご支援のほどどうかよろしく
お願いいたします。



居住支援法人 特定非営利活動法人
やどかりサポート鹿児島

〒890-0056

鹿児島市下荒田4丁目30番5号プレジデント下荒田403号

TEL:099-800-4842 FAX:099-800-4845

